CDI-J038

キヤノンデジタルカメラ

PowerShot A200
PowerShot A100

カメラユーザーガイド

このガイドはPowerShot A200とPowerShot A100に共通です。



CANON iMAGE GATEWAY

- 最初に「ご使用の前に」（p.13）をお読みください。
- ソフトウェアのインストールと画像の取り込み方法については、ソフトウェアクイックガイドをお読みください。
- すぐにお使いになりたいときは、次ページの「クイッククスタート」をお読みください。撮影、再生、消去の操作方法を簡単に説明しています。
- 各プリンターに同梱されているプリンターユーザーガイドもお読みください。

Exif Print

DPOF™

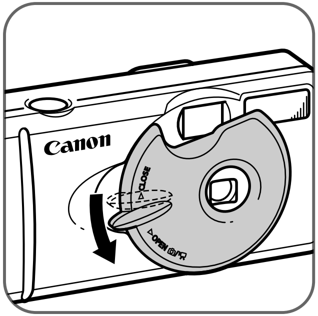
DIRECT PRINT

クィックスタート

1 電池と CF カードを入れる （p.20）

CFカードスロット/バッテリーカバーを開き、電池とCFカードを入れます。

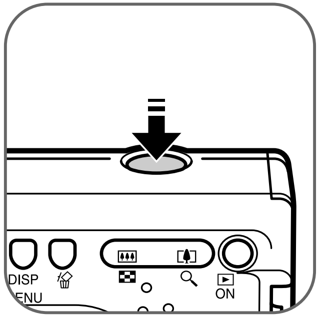




2 レンズカバーを開けて、電源を入れる （p.28）

ファインダー横の緑色のインジケーターが点滅します。

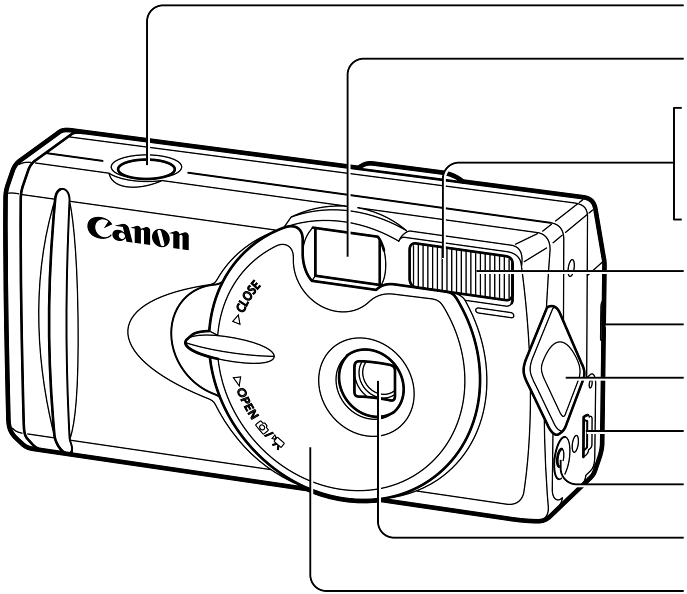
・日付/時刻の設定メニューが表示されたとき （p.25）
・メニューの表示言語を変更するとき （p.26）



3 ピントを合わせる （p.35）

被写体にカメラを向けて、シャッターボタンを軽く押します。撮影準備が完了すると、電子音が2回鳴ります。

前面



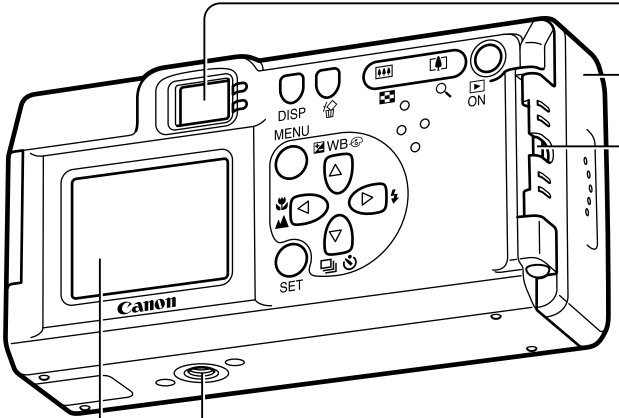
* 接続するケーブル

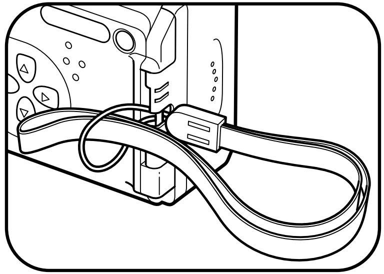
コンピューターと接続する（p. 86） → USBインターフェースケーブル IFC-300PCU（カメラに同梱）

プリンターと接続する（p. 70） → ダイレクトインターフェースケーブル DIF-100（プリンターに同梱）

（このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンターは、システムマップをご覧ください。）

背面



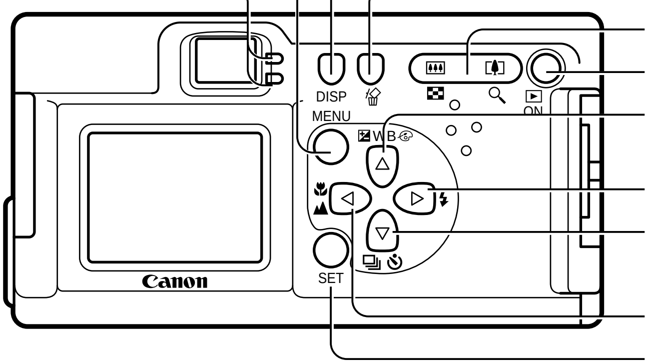


＊ リストストラップを下げているときは、カメラを振り回すような持ち方を避け、他のものに引っ掛からないように注意してください。

このカメラでできること

操作部

インジケーター



- MENU（メニュー）ボタン（p. 37）
- DISP（ディスプレイ）ボタン（p. 30）
- （1画像消去）ボタン（p. 66）
- ズームボタン（p. 36）
- ON（パワー/再生ボタン）（p. 28）
- （露出）/WB（ホワイトバランス）/（色効果）/△ボタン（p. 53、54、55）
- （ストロボ）/▷ボタン（p. 44）
- （連写）/（セルフタイマー）/▽ボタン（p. 47）
- （マクロ）/（遠景）/◁ボタン（p. 46）
- SET（セット）ボタン

インジケーター

レンズカバーを開けたとき、またはシャッターボタンを押したとき、インジケーターが点灯、点滅します。

上側のインジケーター

緑点灯：撮影準備完了/通信準備完了（PC接続時）
緑点滅：カメラ起動中/CFカードへ記録中/CFカードからの読み出し中/CFカードからの消去中/データ転送中（PC接続時）
橙点灯：撮影準備完了（ストロボ発光）
橙点滅：撮影準備完了（手ぶれ警告）/ストロボ充電中（液晶モニターがついているとき）

下側のインジケーター

黄点灯：マクロ/遠景撮影時
黄点滅：ピントが合いにくいとき（シャッターは押せますが、フォーカスロックでピントを合わせて撮影してください）。（p. 51）

このカメラでできること

撮影しましょう

- シャッターを押すだけで、簡単に撮影できます。
- くっきりカラーやすっきりカラー、セピアなど、色味を変更できます。
- 動画を撮影できます。

液晶モニターで画像を見たり、消したりしましょう

- 撮影したあとに、すぐに画像が確認できます。
- 9画像ずつ再生できるので、見たい画像がすぐに探せます。
- 最大10倍まで拡大して再生できます。
- 撮影した画像を、1画像ずつ、または一括で消去できます。

画像を使って楽しみましょう

- カメラとプリンターをケーブルで接続して、すぐにプリントできます。
- コンピューターに画像を取り込んで、編集できます。
- 撮影した画像を、インターネット上にアップロードして、オリジナルアルバムを作成できます。また、そのアルバムをお友達やご家族にも公開できます。

撮影場面に応じて、もっと撮影を楽しみましょう

- 単3乾電池2本で使用できるので、手軽に撮影を楽しめます。
- 別売のウォータープルーフケースを使えば、水深30mまでの水中撮影ができます。

このガイドについて

以下のガイドが用意されています。用途に合わせてお使いください。

カメラユーザーガイド（本書）

- 撮影、再生、消去の操作方法
- コンピューターとの接続方法
- カメラダイレクト対応プリンターとの接続方法、およびプリント方法

システムマップ

- 周辺機器との接続
- 同梱品・別売品の紹介

ソフトウェアクイックガイド

- 同梱の CD-ROM に収められている、各ソフトウェアの主な機能
- コンピューターに必要なシステム構成
- ソフトウェアのインストール方法
- カメラで撮影した画像をコンピューターに取り込む方法

ZoomBrowser EX ソフトウェアガイド（Windows）
ImageBrowser ソフトウェアガイド（Macintosh）

- ZoomBrowser EX（Windows）の詳細な使いかた
- ImageBrowser（Macintosh）の詳細な使いかた

カードフォトプリンター CP-100/CP-10
プリンタードライバユーザーガイド（Windows/Macintosh）

- プリンタードライバのインストール方法
- コンピューターとの接続方法やプリント方法

プリンターユーザーガイド（別売のプリンターに同梱）

- プリンターとカメラの接続方法
- ペーパーやインクカセットの入れかた
- プリンターやペーパー、インクカセットの取り扱い上のご注意

修理サービスご相談窓口

- 修理に関するお問い合わせ先

このガイドについて

表記について

見出しの横にあるマークは、この操作が行えるモードを表しています。この例では、モードが CM 、 、 、 のときに操作できます。

●撮影する●

露出を補正する

カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

カメラを使用するにあたって知っておくと便利で参考になることがらを記載しています。

こんなときには

- **メニュー操作がわからない** …………………………… **メニューの選択と設定のしかた（p. 37）**
- **撮影モードごとに設定できる機能がよくわからない**
- **電源を切ると、変更した設定が保持されるのかわからない** …… **各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 58）**
- **プリントのしかたがわからない** …………………………… **プリントについて（p. 68）**
- **利用できる機能にどんなものがあるかわからない** ………… **撮影メニュー（p. 90）**　**再生メニュー（p. 92）**　**設定メニュー（p. 93）**

目次

　　は、このカメラの機能や操作をまとめてあります。

●目次●

ご使用の前に

アクセサリーについて

本デジタルカメラは、キヤノン純正のデジタルカメラ用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮できるように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。他社製のアクセサリーを組み合わせてお使いになられたことが原因で生じた事故や故障については、弊社では保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本体温度について

このカメラは、長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがあります。これは故障ではありませんが、長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがありますので、ご注意ください。

液晶モニターについて

液晶モニターは非常に精密度の高い技術で作られており99.99％以上の有効画素がありますが、0.01％以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。

万一、このカメラやCFカードなどの不具合により、画像の記録やコンピューターへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本文中の「本機器」とは、カメラ、電池、バッテリーチャージャーおよびコンパクトパワーアダプターを指します。

警告 この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

注意 この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

○記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します（左図：分解禁止)。

●記号は、必ず守っていただきたい事柄を示します。記号の中の図は指示内容を意味します（左図：電源プラグを抜く)。

⚠ 警 告

カメラで太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。 視力障害の原因となります。

ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。 目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

本機器はお子様の手の届かないところに保管してください。お子様が誤って本機器や電池を破損すると危険です。また、誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。

カメラに使用しているコイン電池は、特に幼児の手の届かないところに置いてください。 万一、幼児が電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。

本機器を分解、改造しないでください。高電圧がかかり、感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。

落下などにより、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり、感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、その後必ず電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

本機器を落としたり外装を破損した場合は、まず、カメラの電源を切り、電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

本機器内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。カメラには防水処理が施されていません。水滴がかかったり、潮風にさらされたときには、吸水性のある柔らかい布で拭いてください。万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず、カメラの電源を切り、電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

お手入れのときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
火災の原因となります。

電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長時間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源コードに重いものを乗せたり、傷つけたり、破損したり、加工しないでください。漏電して、火災、感電の原因になります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。また、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などでコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

本機器専用以外の電源は使用しないでください。発熱、変形して、火災、感電の原因になります。

電池を火に近づけたり、火の中に投げ込まないでください。また、水の中に入れたりしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因になります。

電池を分解、改造したり、加熱しないでください。破裂により、けがの原因となります。万一、電池の電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口に付いたときは、ただちに洗い流してください。

電池を落とすなどして強い衝撃を与えないでください。外装が破損した場合、電池の液漏れにより、けがの原因になります。

キーホルダーなどの金属類で電池の「+」と「−」の端子を接触（ショート）させないでください。発熱し、やけど、けがの原因となります。

電池を廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。

指定された電池を使用してください。それ以外のものを使用すると、電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

キヤノン製の単3形ニッケル水素電池およびバッテリーチャージャーをお使いください。それ以外のものを使用すると、発熱、変形して、火災、感電の原因になります。

バッテリーチャージャーおよびコンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

コンパクトパワーアダプターの出力端子は、このカメラ専用です。他の製品にはお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。

⚠ 注 意

直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となったり、機器外装が熱により変形することがあります。また、バッテリーチャージャーで充電する際は、風通しのよいところでお使いください。

湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電、故障の原因になることがあります。

カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意してください。けがや本体の故障の原因となることがあります。

ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また、連続発光後、発光部分に触らないでください。やけどの原因になることがあります。

故障を防ぐためのご注意

●電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

●結露を防ぐために

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れ、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

●結露が発生したときは

故障の原因になりますので、カメラをお使いにならないでください。

CFカード、電池、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、カメラをお使いください。

●長期間使用しないときは

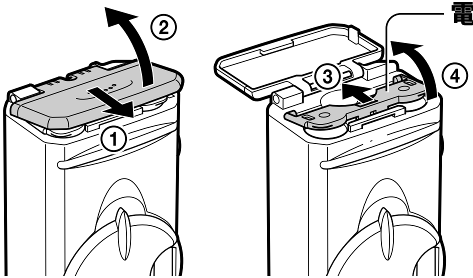
電池をカメラやバッテリーチャージャーから取り出して、安全な場所に保存しておいてください。電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で、故障することがあります。

電池とCFカードを入れる

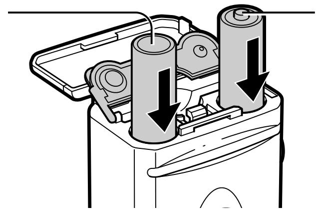
単3形アルカリ電池（同梱）、またはニッケル水素電池（別売）２本と、CFカードを入れます。

1 レンズカバーが閉じて、電源が切れていることを確認します。

2 ＣＦカードスロット/バッテリーカバーを矢印の方向にスライドさせて開き、さらに電池カバーを開きます。



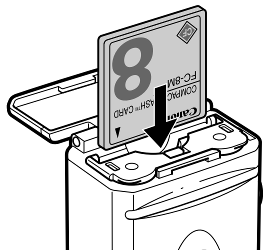
3 電池を図のように入れ、電池カバーを閉じます。



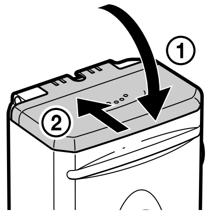
4 CFカードを図のように入れます。

CFカードは、しっかり奥まで差し込みます。

CFカードを取り出すときは、CFカードをつまんで抜き取ります。



5 CFカードスロット/バッテリーカバーを閉じます。



● インジケーターが緑色に点滅しているときは、CFカードへの記録中/読み出し中/消去中、またはデータ転送中（PCに接続中）です。以下のような操作は行わないでください。記録した画像が破壊される恐れがあります。
  ・カメラの電源を切る
  ・カバーを開ける
  ・カメラに衝撃を加える
● 他社のカメラ、または他のアプリケーションソフトウェアで編集したCFカードを使用すると、誤動作する恐れがありますのでご注意ください。

● 長時間お使いになる場合は、別売の家庭用電源（ACアダプターキット ACK800）をご使用ください。（p. 102）
● 別売のバッテリー/チャージャーキットをお使いになると、単3形ニッケル水素電池を使用することもできます。（p. 99）
● お使いになれるバッテリー/チャージャーキット、単3形ニッケル水素電池については、システムマップ（別紙）をご覧ください。
● 電池性能について（p. 111）
● CFカードの種類と記録画素数の目安について（p. 112）

電池の取り扱いについて

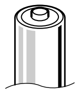
- このカメラで使用できる電池は、単3形アルカリ電池、単3形ニッケル水素電池です。単3形ニッケル水素電池は、キヤノン製のものをお使いください。単3形ニッケル水素電池の取り扱いについては、「充電式バッテリーを使う」(p. 99)をご覧ください。
- マンガン電池やリチウム電池は発熱の恐れがありますのでお使いになれません。
- アルカリ電池は、銘柄により容量や特性に差があるため、付属のアルカリ電池に比べ、電池の使用可能時間が短い場合があります。
- アルカリ電池は、低温下では使用可能時間が短くなります。またアルカリ電池の特性上、ニッケル水素電池に比べ、電池の寿命が短い場合があります。低温化や長時間カメラをお使いになるときは、キヤノンの単3形ニッケル水素電池をお使いになることをおすすめします。
- 単3形ニカド電池はお使いになれますが、性能のばらつきがあるためおすすめできません。
- 新しい電池と、他のカメラなどで使用した電池を混ぜて使わないでください。
- メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を入れる前に、電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていると、記録画素数が著しく少なくなったり、電池の使用可能時間が短くなります。
- カメラの ⊕⊖ 端子は、乾いた布などでよく拭いてからお使いください。汚れていると、接触不良の原因になります。

- 低温下では電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります(特にアルカリ電池の場合)。このようなときは、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。この際、ポケットにキーホルダーなどの金属類は入れないでください。電池がショートする恐れがあります。
- 長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管してください。電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因でカメラが故障することがあります。

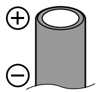
⚠ 警 告

外装シールが(一部または全体に関りなく)剥がれている電池や破損している電池を使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険ですので、絶対にお使いにならないでください。市販されているままの状態でも、電池によっては、外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対にお使いにならないでください。

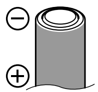
以下のような形状の電池はご使用になれません。



外装シールが一部またはすべて剥がしてある電池(裸電池)



プラス電極が平らである電池



マイナス電極の一部が膨らんでいるが、十分に外装シールで被われていない電池

電池残量について

電池残量が低下すると、以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

	電池残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、新しい電池を使用するか、早めに充電してください。 液晶モニターが消えているときは、、/、/、SET、DISP、/WB/ボタンのいずれかを押すと、表示されます。
バッテリーを交換してください	電池の残量が少なく、動作不能です。ただちに電池を交換してください。

CFカードについて

- **CFカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。**
- **CFカードを分解したり、改造しないでください。**
- **温度差の大きな場所へ急に移動すると、CFカードに水滴が付き(結露)、故障の原因になることがあります。結露を防ぐには、移動の前にビニール袋に入れて密閉しておき、周囲の温度に十分慣らしてからお使いください。結露したときは、水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。**
- **CFカードは、下記の場所で使用したり、保管しないでください。**
  - **ほこりや砂ぼこりの立つ場所**
  - **高温多湿の場所**

日付/時刻を設定する

はじめてカメラの電源を入れたとき、またはコイン電池の残量が低下したときには、日付/時刻の設定画面が表示されます。手順5から操作してください(コイン電池の残量が低下したときは、コイン電池を交換してください)。

1 電源を入れます。(p. 28)

2 MENUボタンを押します。

撮影または再生メニューが表示されます。



3 ◁/▷ ボタンで [(設定)] メニューを選びます。



4 △/▽ ボタンで (日付/時刻)を選び、SETボタンを押します。

5 **日付と時刻を設定します。**

◁/▷ ボタンで設定する項目を選びます。

△/▽ ボタンで日付や時刻を設定します。



6 **SETボタンを押します。**

7 **MENUボタンを押します。**

言語を設定する

液晶モニターのメニューやメッセージの表示言語を設定します。

1 **MENUボタンを押します。**

撮影または再生メニューが表示されます。



2 **◁/▷ ボタンで［（設定）］メニューを選びます。**



3 ▲/▼ ボタンで（言語）を選び、SETボタンを押します。



4 言語を設定します。

◀/▶/▲/▼ ボタンで言語を選びます。

5 SETボタンを押します。

SETボタンを押さずに、MENUボタンを押すと、言語の設定を変更せずに設定メニューに戻ります。

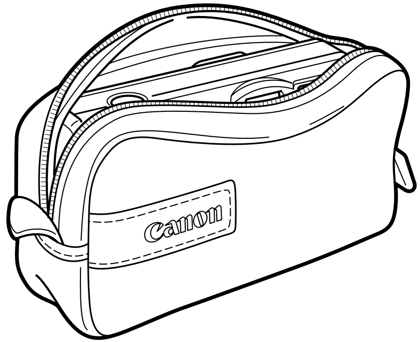
6 MENUボタンを押します。

かんたん操作

- 再生モードのとき、SETボタンを押しながらMENUボタンを押すと、言語設定画面をすぐに表示できます。

ソフトケース（別売）を使う

ソフトケースには、カメラ、バッテリー、CFカードを収納してお使いいただけます。



電源を入れる/切る

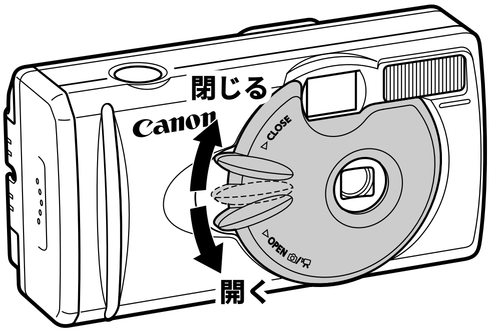
撮影モード

1 **レンズカバーを開きます。**

電源が入り、撮影モード（静止画）になります。

レンズカバーを閉じます。

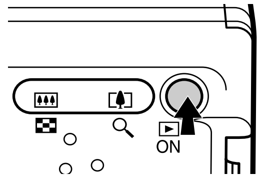
電源が切れます。



再生モード

1 **液晶モニターに画像が表示されるまで、▶ON ボタンを押します。**

電源が入り、再生モードになります。



もう一度、▶ON ボタンを押す

電源が切れます。

● 節電機能

カメラには節電機能が付いています。

撮影時

　約3分間、何も操作しないと電源が切れます。

再生時
約5分間、何も操作しないと電源が切れます。
プリンター（別売）接続時
約5分間、カメラの操作を何もせず、またプリンターで何もプリントしないと、電源が切れます。
コンピューター接続時
約5分間、何も操作しないとコンピューター画面に警告メッセージが表示されます。さらに1分間、何も操作しないとカメラの電源が切れます。

- オートプレイで自動再生中は、節電機能は働きません。（p. 64）
- 節電機能が働かないよう、カメラの設定を変更できます。（p. 93）
- 節電機能が「切」でも、液晶モニターがついているとき、約3分間何も操作しないと、液晶モニターは消えます。何かボタンを押すと再び液晶モニターがつきます。

節電機能から復帰するには

撮影時
レンズカバーのレバーを下げます。
再生時/プリンター接続時/コンピューター接続時
▶ON ボタンを押します。

撮影/再生を切り換える

撮影モードと再生モードをすばやく切り換えることができます。撮影直後に画像を再生したり、消去できます。また、画像を再生中に、すぐに撮影することができます。

撮影モードのとき

1 **▶ON ボタンを押します。**
再生モードになります。
もう一度 ▶ON ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。

再生モードのとき

1 **レンズカバーを開きます。または、レンズカバーのレバーを下に下げます。**
撮影モードになります。

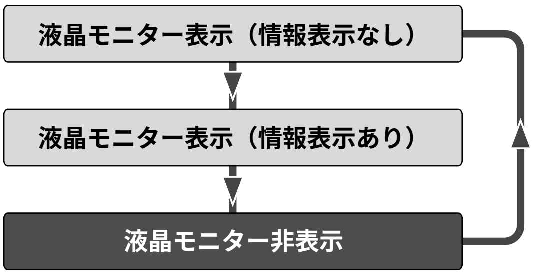
液晶モニターの使いかた

画像を確認しながら撮影するときや、メニュー操作、画像を再生するときは、液晶モニターを使います。

- 太陽や強い光があたると液晶モニターの表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。

撮影モードのとき

DISPボタンを押すたびに、次のように表示が切り換わります。



- 液晶モニターの表示/非表示の設定は、カメラの電源を切っても記憶され、次回電源を入れたとき、直前の状態で使用できます。ただし、液晶モニターをつけて撮影しているとき、「バッテリーを交換してください。」というメッセージが表示された場合は、次回電源を入れたときに、液晶モニターがつかないことがあります。
- 液晶モニター表示（情報表示なし）や、液晶モニター非表示でも、次の操作を行うと、情報が約6秒間表示されます。
  - 電源を入れたとき
  - SET、DISP、±/WB/◎、⚡、▣/◷、🌷/▲ ボタンのいずれかを押したとき
  - カメラの設定を変更したとき
  - 設定メニューを終了したとき
  - シャッターボタンを押して撮影を終了したとき（液晶モニターがついている場合のみ）

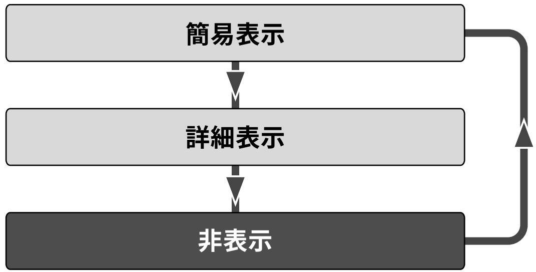
- / 、 のときは、設定に関わらず、液晶モニターがつきます。

● 光量不足のときには、撮影準備完了時に、上側のインジケーターが橙色に点滅し、液晶モニター中央に （手ぶれ警告）が表示されます。ストロボをオンにするか、三脚などでカメラを固定して撮影してください。

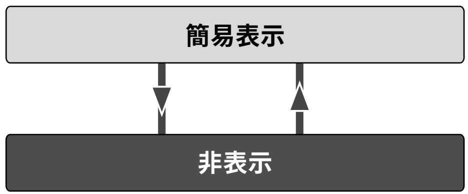
再生モードのとき

ボタンを押すと、液晶モニターがつきます。DISPボタンを押すたびに、情報表示が切り換わります。

シングル再生時（1画像再生）

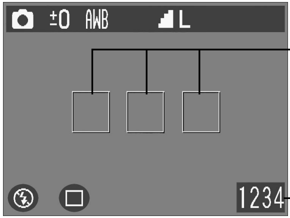


インデックス再生（9画像再生）



液晶モニターに表示される情報

撮影モード



撮影モード		p. 41
露出補正	-2 · · ±0 · · +2	p. 53
ホワイトバランス		p. 54
色効果		p. 55
記録画素数	L M S 320 160	p. 42
圧縮率		p. 42
ISO 感度 A200	ISO 50 100 200 400	p. 56
ISO 感度 A100	ISO 64 100 200 400	
ストロボ		p. 44
撮影方法		p. 47
マクロ / 遠景モード		p. 46

動画撮影	●（赤）	p. 50
ズーム倍率* A200	x1.3 x1.6 x2.0 x2.5 x3.2 x4.0	p. 36
A100	x1.3 x1.6 x2.0 x2.5 x3.2	
手ぶれ警告		p. 31
バッテリー残量低下		p. 24

* デジタルズーム時に表示されます。

の情報が表示されている間にストロボ、連続撮影、セルフタイマー、マクロ、遠景の設定ができます。情報が表示されていないときは、DISP、 、 / 、 / ボタンのいずれかを押します。

撮影時のご注意
極端に明るい被写体（一部高輝度な部分を含む被写体）を撮影すると、液晶モニター上に、縦に赤い帯が表示されることがあります。動画には、この帯が記録されますが、静止画には記録されません。これは、CCD特有のスミア現象で、カメラの故障ではありません。

再生モード（簡易表示）

簡易表示では、次の情報が表示されます。

- ファイル番号
- 画像番号（再生画像番号/総画像数）
- 撮影日時
- 圧縮率（ ）
- 記録画素数（ L M S ）
- 動画（ AVI ）
- プロテクト情報（ ）

再生モード（詳細表示）

詳細表示では、さらに次の情報が表示されます。

撮影モード		p. 41
露出補正	-2・ ±0・ +2	p. 53
ホワイトバランス	AWB	p. 54
色効果	V N LS S BW	p. 55
ストロボ		p. 44
マクロ / 遠景モード		p. 46
記録画素数（動画）	320 160	p. 42

上記以外に、動画記録時間が表示されます。

画像によっては、以下の情報が表示されることがあります。

♪	音声ファイル（WAVEファイル）が付いています。
♪?	WAVEファイル以外の音声ファイル、または、認識できないファイルが付いています。
!	DCFの規格と異なる構造を持つJPEGファイルです。
RAW	RAW形式のファイルです。
?	認識できない形式のファイルです。

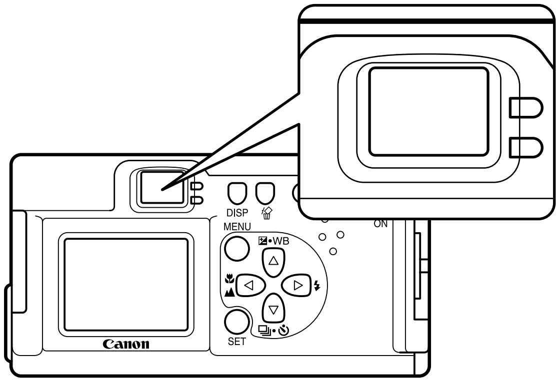
- このカメラで撮影した画像を他のカメラで再生する場合、あるいは他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生する場合、情報を正しく表示できないことがあります。

ファインダーの使いかた

ファインダーを使って撮影すると、消費電力を抑えることができます。

1 写したいもの（被写体）をファインダーの中央に合わせて撮影します。

このファインダーの視野率＊は約80％です。



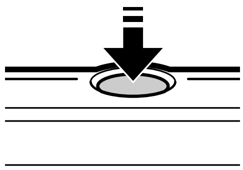
＊ 実際に撮影される範囲に対して、ファインダーで確認できる範囲の比率です。

- **オートフォーカスについて**
  このカメラのオートフォーカス機能は、AiAF*を採用しています。
  AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピント合わせを的確に判断します。ピントを合わせたい被写体が中央部から多少はずれている場合でも、目的の被写体にピントを合わせます。
  AiAFを［切］にして、中央一点でオートフォーカスすることもできます。（p. 52）
  ＊ Ai ＝Artificial intelligence：人工知能
  AF＝オートフォーカス
- **ファインダーで見える範囲と撮影範囲との違いについて**
  ファインダーを使って撮影するときには、ファインダーの特性上、ファンダーで見える範囲と実際に撮影される範囲にズレ（パララックス）が生じます。特に被写体の距離が近い場合には、パララックスが大きくなり、ファインダーで見える範囲でも撮影されない場合があります。マクロ撮影する場合には、必ず液晶モニターを使って撮影してください。

シャッターボタンの押しかた

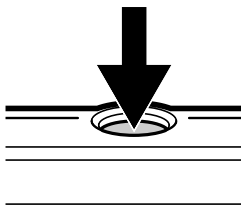
シャッターボタンの押しかたには、「半押し」と「全押し」の2段階があります。

半押し・・・浅く押したとき



露出、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定します。設定が完了すると電子音が2回鳴り、上側のインジケーターが緑色に点灯します。ストロボが発光するときは、橙色に点灯します。（p. 6）

全押し・・・深く押したとき



電子音が1回鳴り、撮影が行われます。CFカードに記録中は上側のインジケーターが緑色に点滅します。（p. 6）

AF補助光について

- 暗い場所などでシャッターボタンを半押しにするとき、ピントを合わせやすくするために、AF補助光が光ることがあります。
- AF補助光は切ることもできます。（p. 91）
  例えば、暗い場所で動物を撮るときなど、AF補助光で動物を驚かせて逃がすことなく撮影できます（ただし、AF補助光を切ると、ピントが合いにくくなることがあります）。

撮影直後に画像を確認する

撮影直後、シャッターボタンを離しても約3秒間*、撮影した画像を表示しますが、次の方法で確認することもできます。
*表示時間は変更できます。（p. 91）

- シャッターボタンを全押しし続ける
- 撮影した画像が表示されている間にSETボタンを押す。
  シャッターボタンを半押しすると解除されます。

- 画像確認中、画像を消去できます。（p. 66）

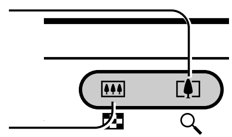
デジタルズームの使いかた

液晶モニターがついているとき、デジタルズームにより、最大4倍（PowerShot A200）、または最大3.2倍（PowerShot A100）まで拡大して撮影できます。

ズーム（画角）を調節する

[ ] ボタン：被写体を大きく写します。

[ ] ボタン：被写体を小さく写します。



- デジタルズームは「切」にできます。（p. 91）
- デジタルズームは、拡大するほど画質が粗くなります。

- モードによって、デジタルズームが使えないことがあります。（p. 59）

メニューの選択と設定のしかた

撮影時や再生時の設定などは、メニューを使って操作します。メニューを使った操作は、下記のように行います。メニュー項目や設定内容については、「メニュー設定項目と初期設定（p. 39）」をご覧ください。

1 **MENUボタンを押します。**
メニューが表示されます。





モードのとき　▶ モードのとき

2 **◁/▷ ボタンで撮影/再生、または設定メニューを選びます。**

3 **△/▽ ボタンでメニュー項目を選びます。**

4 **撮影メニュー/設定メニュー（一部）：◁/▷ ボタンで設定したい内容を選びます。**
再生メニュー/設定メニュー（一部）：SETボタンを押してから、詳細な設定をします。

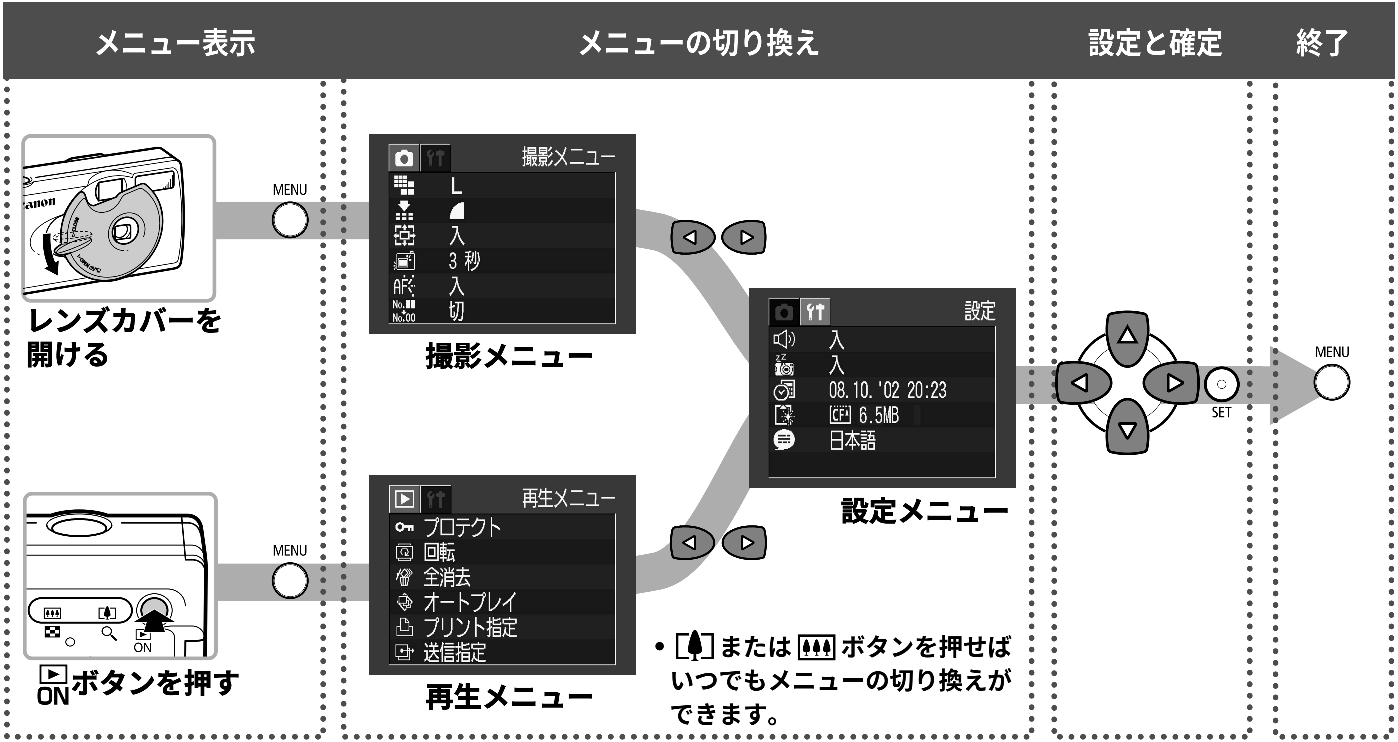




画面例：PowerShot A100

5 **MENUボタンを押します。**

メニューの選択と設定のしかた（つづき）



メニュー設定項目と初期設定

	メニュー項目		設定内容	参照先
撮影メニュー（赤）	記録画素数（静止画）			
		PowerShot A200	L 1600 ×1200 */ M 1024 × 768/ S 640 × 480	p. 42
		PowerShot A100	L 1280 × 960 */ M 1024 × 768 / S 640 × 480	
	記録画素数（動画）		320 320 × 240 */ 160 160 × 120	p. 42
	圧縮率		スーパーファイン / ファイン* / ノーマル	p. 42
	ISO ISO 感度			
		PowerShot A200	50 */100/200/400/AUTO	p. 56
		PowerShot A100	64 */100/200/400/AUTO	
	AiAF AiAF		入* / 切	p. 52
	デジタルズーム		入* / 切	p. 36
	撮影の確認		切 / 3 秒* / 10 秒	p. 36
	AF 補助光		入* / 切	p. 35
	番号リセット機能		入 / 切*	p. 57

* 初期設定

	メニュー項目	設定内容	参照先
▶ 再生メニュー（青）	プロテクト	プロテクトを設定します。	p. 65
	回転	回転して表示します。	p. 63
	全消去	すべての画像を消去します。	p. 66
	オートプレイ	自動再生します。	p. 64
	プリント指定	プリント指定をします。	p. 72
	送信指定	送信指定をします。	p. 83
設定メニュー（黄）	電子音	入* / 切	p. 93
	節電	入* / 切	p. 28
	日付 / 時刻	日付 / 時刻を設定します。	p. 25
	CF の初期化	CF カードを初期化します。	p. 67
	言語	English / Deutsch / Français / Nederlands / Dansk / Suomi / Italiano / Norsk / Svenska / Español / 日本語*	p. 26

＊ 初期設定

- 撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。
- ［日付 / 時刻］、［言語］以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻せます。（p. 94）

撮影モードを選ぶ

このカメラには、次の撮影モードがあります。

[オート]	オート	ほとんどの設定をカメラまかせで撮影できます。
[マニュアル]	マニュアル	露出、ホワイトバランスなど、自分で選択できます。
[スティッチアシスト]	スティッチアシスト	パノラマ合成用の画像を撮影できます。
[動画]	動画	動画の撮影ができます。

各撮影モードで設定した内容は、撮影モードを変更しても、保持されます。また、設定によっては、電源を切っても保持されます。（p. 58）

の選択

1 レンズカバーを開け、電源を入れます。
前回、電源を切ったときの撮影モードが設定されています。

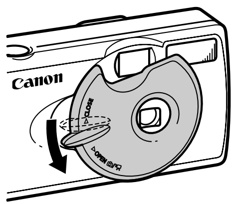
2 SETボタンを押します。



3 ◁/▷ ボタンで撮影モードを選び、SETボタンを押します。

を設定する

1 レンズカバーを開け、電源を入れたあと、レンズカバーのレバーを下げます。



レンズカバーのレバーを下げることで、静止画撮影と動画撮影が切り換わります。

記録画素数/圧縮率を変更する

目的に応じて記録画素数と圧縮率(動画を除く)を変更できます。

記録画素数

S(スモール)→ M(ミドル)→ L(ラージ)の順に大きくなります。大きくプリントしたい場合は、大きな画素数を選ぶことをおすすめします。また、小さなシールにプリントする場合や電子メールで送ったり、より多くの画像を撮影したいときなどは、小さな画素数を選ぶことをおすすめします。

圧縮率

(ノーマル)→ (ファイン)→ (スーパーファイン)の順に高画質になります。より良い画質で撮影したい場合は (スーパーファイン)を、より多くの画像を撮影したい場合は (ノーマル)をおすすめします。通常は、 (ファイン)で十分な画質が得られます。

記録画素数	PowerShot A200	PowerShot A100
L (ラージ)	1600×1200画素	1280×960画素
M (ミドル)	1024× 768画素	1024×768画素
S (スモール)	640× 480画素	640×480画素

記録画素数	
320	320×240画素
160	160×120画素

圧縮率	
S	スーパーファイン
	ファイン
	ノーマル

1 撮影メニューから (記録画素数)または (圧縮率)を選びます。

メニューの選択と設定のしかた(p. 37)

記録画素数



画面例：PowerShot A100

圧縮率



2 / ボタンで設定を選びます。

3 MENUボタンを押します。

- 各モードで変更できる設定(p. 58)。
- 1画像の容量(目安)、CFカードの種類別記録可能画像数について(p. 112)。

ストロボを使う

	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光して撮影します。
	赤目緩和オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光して撮影します。ストロボ発光の際には、常に赤目緩和ランプを発光します。
	オン	常にストロボを発光して撮影します。
	オフ	撮影時にストロボは発光しません。
	スローシンクロ	遅いシャッター速度で、ストロボを発光して撮影します。夜景や室内の照明を利用した撮影などで、背景だけが暗くなるのを軽減できます。常に赤目緩和ランプを発光します。 三脚をお使いになることをおすすめします。

1 撮影したいストロボモードになるまで、ボタンを押します。

	○	○	―
	○	○	―
	―	○	△
	○	○	△
	―	○	△

○：設定可　△：最初の1画像のみ設定可

2 撮影します。

インジケーターが橙色に点灯するときは、ストロボが発光します。

- マクロでストロボを使用しますと、正しく調光されない場合があります。その場合は、ストロボを使用せず、ISO感度を上げたり、別の照明を当てて撮影してください。
- ISO感度を上げてストロボ撮影する場合、被写体との距離が近いほど、白飛びしやすくなります。
- ストロボがオフおよびスローシンクロのとき、暗いところではシャッター速度が遅くなり、画像がぶれることがありますのでご注意ください。
  - で撮影するとき
    手ぶれしないように、カメラをしっかり持って撮影してください。
  - 、 / で撮影するとき
    での撮影よりも、シャッター速度が遅くなるので、必ず三脚をお使いください。 で撮影した画像が暗い場合、 で撮影すると、より明るい画像が得られます。

- ストロボの充電に約20秒かかる場合があります。また、液晶モニターがついているときは、充電中、インジケーターが橙色に点滅し、液晶モニターが消えます。充電が完了すると、インジケーターが橙色に点灯し、液晶モニターがつきます。充電時間は使用状況や電池の残量によって変わります。
- ストロボの発光は2回行われ、プリ発光し、続いてメイン発光します。プリ発光(ストロボ撮影に必要な露出情報を得るための予備的な発光)で得た被写体の露出情報をもとにして、メイン発光(ストロボ撮影を行うための発光)に必要な発光量が決められ、最適な発光量でストロボ撮影が行われます。
- 赤目緩和機能について
  暗い所でストロボを発光すると、ストロボの光が反射して目が赤く写ることがあります。このようなときは、赤目緩和オート*で撮影してください。
  その場合、写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。また、「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」とより効果があります。
  * 赤目緩和ランプが発光するときは、効果を高めるために、シャッターボタンを全押ししても、約1秒間は撮影できません。すぐに撮影したいときはストロボの設定を 、 、 のいずれかにして撮影してください。

至近距離 / 遠距離で撮る

	近距離（マクロ）	レンズ前面から被写体までの距離が、5cm～20cmのときに使います。
	遠距離（遠景）	風景を撮影するときに使います。近いものと遠いものが混在していて、遠いものを撮影したいときにも使います。

1 / ボタンを押して または を表示させます。

	○	○	△	△	○
	－	○	△	△	○

○：設定可　△：最初の1画像のみ設定可

2 撮影します。

- マクロでストロボを使用しますと、正しく調光されない場合があります。その場合は、ストロボを使用せず、ISO感度を上げたり、別の照明を当てて撮影してください。

- マクロでは、必ず液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーをお使いになると撮影範囲がずれます。
- 被写体に最も近づいたときの撮影範囲
  PowerShot A200：約46×34mm
  PowerShot A100：約47×35mm

連続して撮る

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。撮影速度は、次のようになります。

PowerShot A200：約2画像/秒*

PowerShot A100：約3画像/秒*

＊ ラージ/ファインモード、液晶モニター非表示（当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。）

1 **/ ボタンを（何回か）押して、を表示させます。**

2 **撮影します。**

- **画像を一時的に保存するための内部メモリーがいっぱいになると、撮影間隔が多少長くなることがあります。**
- **ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。**

セルフタイマーで撮る

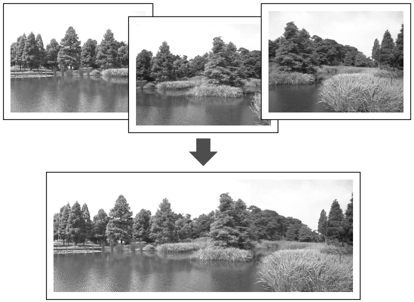
1 **/ ボタンを（何回か）押して、を表示させます。**

2 **撮影します。**

- **シャッターボタンを押すとセルフタイマーがスタートし、セルフタイマーランプが点滅します。約10秒後に撮影されます。撮影2秒前になると点滅が速くなります。**

スティッチアシストで撮る

スティッチアシストモードで撮影すると、撮影した画像をコンピューターで合成し、パノラマ画像を作成できます。



スティッチアシストモードには、撮影方向によって次の2つがあります。

	左→右	左から右方向に水平に撮影します。
	右→左	右から左方向に水平に撮影します。

● コンピューターでの画像合成には、同梱の「PhotoStitch」をお使いください。

被写体のとらえ方

スティッチは、隣り合う画像の共通部分を見つけて合成処理を行います。共通部分には、できるだけ特徴のある被写体（目印となる被写体）を入れて撮影してください。



- 隣り合う画像の共通部分は、画像の幅の30～50％になるように撮影してください。また、上下のズレは、画像の高さの10％以内で撮影します。
- 共通部分には、動いている被写体が入らないように注意してください。

- 遠くの被写体と近くの被写体が混在する画像をスティッチしないでください。ゆがんだり、二重に写ったりすることがあります。
- 撮影時の明るさはできるだけ揃えてください。画像の明るさが違いすぎると、不自然な画像になってしまうことがあります。
- 遠くの風景を撮るときは、カメラを中心に回転して撮影します。
- 至近距離では、カメラをスライド（カメラを被写体に対して平行移動）させます。

撮影する

1 最初の画像を撮影します。

2 最初の画像に重なる（オーバーラップ）ようにして、次の画像を撮影します。

- オーバーラップは、多少ずれても合成時に修正されます。
- ◁/▷ ボタンを押すと撮影済みの画像に戻り、撮影し直すことができます。

3 同様の操作で3画像目以降を撮影します。

最大26画像まで撮影できます。

4 撮影が終了したらSETボタンを押します。

- このモードで変更できる設定（p. 58）。
- 2画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。

動画を撮る

記録画素数は、撮影メニューの[記録画素数]で[320(320×240)]または[160(160×120)]を選べます。(p. 42)

1 シャッターボタンを全押しすると撮影が開始されます。

- 撮影中は、液晶モニターに、撮影秒数と赤丸が表示されます。

2 撮影を終了するときは、再度シャッターボタンを全押しします。

- 1回の撮影時間(当社測定条件による)
  A200は、320:約9秒、160:約26秒(約20フレーム/秒)
  A100は、320:約14秒、160:約30秒(約15フレーム/秒)
  これらの時間は、被写体、撮影状況などにより変わることがあります。
  これらの時間が経過するか、またはCFカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影が終了します。

- AE、AF、ホワイトバランスは、撮影を開始したとき(最初のフレーム)の設定値に固定されます。
- 撮影後、CFカードへの記録中は緑色のインジケーターが点滅します。このときは、撮影できません。

- 動画ファイル(ファイル形式:AVI、圧縮形式:Motion JPEG)をコンピューターで再生するには、QuickTime 3.0以上が必要です(同梱のDigital Camera Solution Diskには、QuickTime 5.0が収められています)。
- このモードで変更できる設定。(p. 58)

フォーカスロックで撮る

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。フォーカスロックで撮影してください。

- コントラストが極端に低い被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体
  できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある異なる被写体を、ファインダー中央、または液晶モニターに表示されているAF枠に収めます。

2 シャッターボタンを半押しし、電子音が2回鳴るまで待ちます。

3 カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しします。

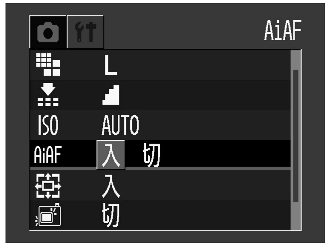
オートフォーカス方式を切り換える

オートフォーカス機能は、AiAFに設定されていますが、中央1点のオートフォーカスに切り換えることができます。

□□□	入	撮影状況に応じて、カメラが自動的にAF枠を選択してピントを合わせます。
□	切	中央のAF枠でピントを合わせます。狙った被写体に確実に合わせたり、構図を楽しむのに便利です。

1 **撮影メニューから[AiAF](AiAF)を選びます。**

メニューの選択と設定のしかた(p. 37)



2 **◁/▷ ボタンで[入]または[切]を選びます。**

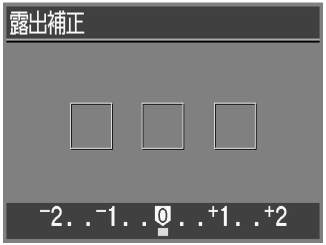
3 **MENUボタンを押します。**

MENUボタンの代わりにシャッターボタンを押し、設定したオートフォーカス方式で撮影できます。

露出を補正する

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまうようなときなどに露出を調整します。

1 /WB/ ボタンを押します。



2 /ボタンで補正量を調整します。

- 補正量は、−2〜＋2の範囲で1/3段ずつ変更できます。
- 液晶モニターがついているときは、液晶モニターの表示画像で補正結果を確認できます。
- 設定したあとすぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

3 SETボタンを押します。

露出補正を解除するには、補正量を0に戻します。

WB ホワイトバランスを設定する

撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定すると、その光源に合った適正な色に調整できます。

AWB	オート	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。
	太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択します。
	くもり	曇天や日陰、薄暮などで撮影するときに選択します。
	電球	電球、電球色タイプ（3 波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3 波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3 波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。

1 ホワイトバランス設定画面が表示されるまで、/WB/ ボタンを(何回か)押します。



2 / ボタンでホワイトバランスを選びます。

- 液晶モニターがついているときは、液晶モニターの表示画像で補正結果を確認できます。
- 設定したあと、すぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

3 SETボタンを押します。

- 色効果で（セピア）、（白黒）を選んだときは、ホワイトバランスは設定できません。

色効果を切り換える

色効果を変えて撮影できます。

OFF	切	通常はこの設定で撮影します。
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いで撮影します。
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりした色合いで撮影します。
LS	ソフト	画像の輪郭を抑えて撮影します。
S	セピア	セピア色で撮影します。
BW	白黒	白黒で撮影します。

1 **色効果設定画面が表示されるまで、/WB/ ボタンを(何回か)押します。**



2 **/ ボタンで色効果を選びます。**

- 液晶モニターがついているときは、液晶モニターの表示画像で色効果を確認できます。
- 設定したあと、すぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

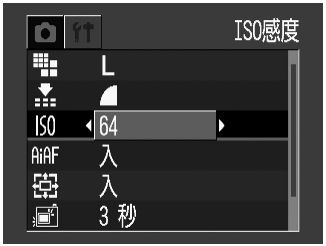
3 **SETボタンを押します。**

ISO感度を変更する

暗いところでの撮影や、シャッター速度を早くしたいときに切り換えます。

1 撮影メニューから、ISO（ISO感度）を選びます。

メニューの選択と設定のしかた（p. 37）



画面例：PowerShot A100

2 ◁/▷ ボタンで感度を選びます。

3 MENUボタンを押します。

- ISO感度を上げると、画像にノイズが増えます。きれいに撮りたいときは、なるべく低い感度を選んでください。
- AUTOのときは、次のように自動設定されます。
  PowerShot A200：ISO 50〜150
  PowerShot A100：ISO 64〜150

ファイル番号をリセットする

ファイル番号の設定方法を選びます。

入	新しいCFカードを入れるたびにファイル番号が初期値（100-0001）に戻ります。記録済みのCFカードを入れたときは、続きの番号になります。
切	最後のファイル番号が記憶され、新しいCFカードを入れても続きのファイル番号になります。

1 撮影メニューから、(番号リセット機能)を選びます。

メニューの選択と設定のしかた(p. 37)



2 ◁/▷ ボタンで[入]または[切]を選び、MENUボタンを押します。

- 番号リセット機能を[切]にすると、ファイル番号が重複しないため、コンピューターでまとめて管理するような場合に便利です。
- ファイル番号について
  撮影した画像には、0001〜9900までのファイル番号が割り振られ、ひとつのフォルダに100画像ずつ保存されます。各フォルダには、100〜998までの番号が割り振られます(下2桁が99のフォルダは作られません)。
  や / で撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、フォルダ内に101画像以上保存されることがあります。

各撮影モードで設定できる機能一覧

各撮影モードで設定できる機能は以下のとおりです。各撮影モードで設定した内容は、撮影後も設定が保持されます。また、撮影モードを変更しても保持されます。

機　能							参照先
記録画素数	ラージ	L	○*	○*	△*	ー	p. 42
	ミドル	M	○	○	△	ー	
	スモール	S	○	○	△	ー	
	動画	320	ー	ー	ー	○*	
	動画	160	ー	ー	ー	○	
圧縮率	スーパーファイン	S	○	○	△	ー	p. 42
	ファイン		○*	○*	△*	ー	
	ノーマル		○	○	△	ー	
ストロボ	オート	A	○	○	ー	ー	p. 44
	赤目緩和オート		○*	○*	ー	ー	
	オン		ー	○	△	ー	

機能						参照先
ストロボ	オフ	○	○	△*	○*	p. 44
	スローシンクロ	−	○	△	−	
マクロ撮影		○	○	△	○	p. 46
遠景撮影		−	○	△	○	p. 46
撮影方法	シングル撮影	○*	○*	△*	○*	p. 47
	連続撮影	−	○	−	−	
	セルフタイマー	○	○	△	○	
露出補正		−	○	△	○	p. 53
ホワイトバランス		−	○	△	○	p. 54
色効果		−	○	△	○	p. 55
ISO 感度		−(1)	○	−(1)	−(1)	p. 56
オートフォーカス方式の選択		−	○	−	−	p. 52
デジタルズーム		○	○	−	−	p. 36
AF 補助光		○	○	△	○	p. 35

＊ 初期設定　○：設定可　△：最初の 1 画像のみ設定可　(1) ISO 50 ～ 150 相当（PowerShot A200）、または ISO 64 ～ 150 相当（PowerShot A100）で自動設定

（網掛け）電源を切っても解除されません。

1画像ずつ見る

撮影した画像を液晶モニターに表示します（シングル再生）。

1 ボタンを押します。
最後に撮影した画像が表示されます。

2 ボタンで表示する画像を切り換えます。
ボタンを押し続けると、連続して画像を表示できます。

拡大して見る

1 シングル再生中に、 ボタンを押します。
画像が最大10倍まで連続して表示されます。



表示位置の目安

- SETボタンを押しながら ボタンを押すと、画像が約2.5倍→約5倍→約10倍の順に拡大表示されます。
- ボタンを押すと、上下左右方向に表示位置を変更できます。
- ボタンを押すと、拡大表示が解除されます。

- 動画、インデックス再生時は拡大表示できません。

9画像ずつまとめて見る ▶

撮影した画像を一度に9画像ずつまとめて表示します(インデックス再生)ので、すばやく画像を探せます。

1 ボタンを押します。

9画像ずつ表示されます。



2 ◁/▷/△/▽ ボタンで画像を選びます。

3 大きく表示したい画像があったら、🔍 ボタンを押します。

9画像ずつ表示を切り換える

1 インデックス再生中に、 ボタンを押します。

2 ◁/▷ ボタンで画像を切り換えます。



- SETボタンを押しながら ◁/▷ ボタンを押すと、最初または最後の画像が表示されます。
- 🔍 ボタンを押すと、インデックス再生になります。

動画を見る ▶

撮影した動画を再生します。

1 ◁/▷ ボタンで、動画を選びます。
SET ▶/II が表示されている画像が動画です。



2 SETボタンを押します。
動画が再生されます。

- 再生が終了すると、最後のフレームを表示したままで停止します。その状態で、再びSETボタンを押すと、最初のフレームから再生されます。

再生の一時停止/再開

- SETボタンを押すと、再生を一時停止します。再度SETボタンを押すと、再生を再開します。

画像の送り/戻し

- ◁/▷ ボタンを押すと、再生を中断し、前または次の画像を表示します。

- コンピューターで動画を再生するとき、コンピューターの性能によっては、画像がちらついたり、画像がコマ落ちすることがあります。

回転して表示する ▶

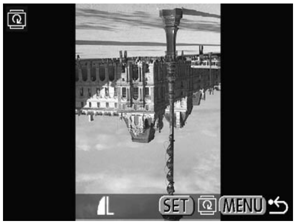
時計方向または反時計方向に90度回転して表示します。



0度（元の画像）



90度



270度

1 **再生メニューから （回転）を選び、SETボタンを押します。**

メニューの選択と設定のしかた（p. 37）

2 **◁/▷ボタンで回転したい画像を選び、SETボタンを押します。**

SETボタンを押すたびに90度→270度→元の画像を表示します。

3 **MENUボタンを押します。**

- 動画は回転表示できません。
- カメラで回転した画像をコンピューターに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

画像を自動再生する

CFカード内のすべての画像を自動で再生します(オートプレイ)。再生間隔は、約3秒です。

1 再生メニューから (オートプレイ)を選び、SETボタンを押します。

メニューの選択と設定のしかた(p. 37)

自動再生が開始されます。

- オートプレイ中も、シングル再生中と同様に / ボタンで画像を送ることができます。

オートプレイの一時停止/再開

オートプレイ中にSETボタンを押すと、オートプレイが停止されます。もう一度SETボタンを押すと、再開されます。

オートプレイの終了

オートプレイの停止中に、MENUボタンを押すと、終了します。

- 画像によっては、再生時間が異なることがあります。
- 動画は、記録した時間で再生されます。
- オートプレイ中は、節電機能は働きません。(p. 28)

画像をプロテクトする

大切な画像を誤って消去しないようにプロテクトすることができます。

1 **再生メニューから（プロテクト）を選び、SETボタンを押します。**

メニューの選択と設定のしかた（p. 37）

2 **ボタンでプロテクトしたい画像を選び、SETボタンを押します。**

プロテクトした画像には、が表示されます。



プロテクトマーク

- プロテクトした画像でSETボタンを押すと、プロテクトが解除されます。
- ボタンでインデックス再生に切り換えて指定できます。

3 **MENUボタンを押します。**

- CFカードを初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。

消去する

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。（p. 65）

1画像ずつ消去する ▶

1 ◁/▷ ボタンで消去したい画像を選び、 🗑 ボタンを押します。



2 ◁/▷ ボタンで[消去]を選び、SETボタンを押します。

消去を取り消す場合は、[キャンセル]を選び、SETボタンを押します。

全画像を消去する ▶

1 再生メニューから 🗑（全消去）を選び、SETボタンを押します。

メニューの選択と設定のしかた（p. 37）



2 ◁/▷ ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します。

消去を取り消す場合は、[キャンセル]を選び、SETボタンを押します。

CFカードを初期化する

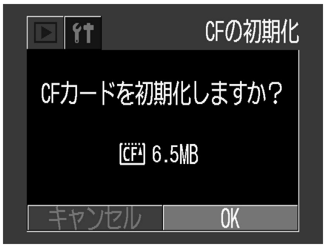
新しいCFカードをお使いになるときは、次の方法で初期化します。

- 初期化すると、CFカードに記録されている画像(プロテクト設定してある場合でも)、データがすべて削除されます。ご注意ください。

1 **設定メニューから（CFの初期化）を選び、SETボタンを押します。**

メニューの選択と設定のしかた(p. 37)

2 **/ ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します。**



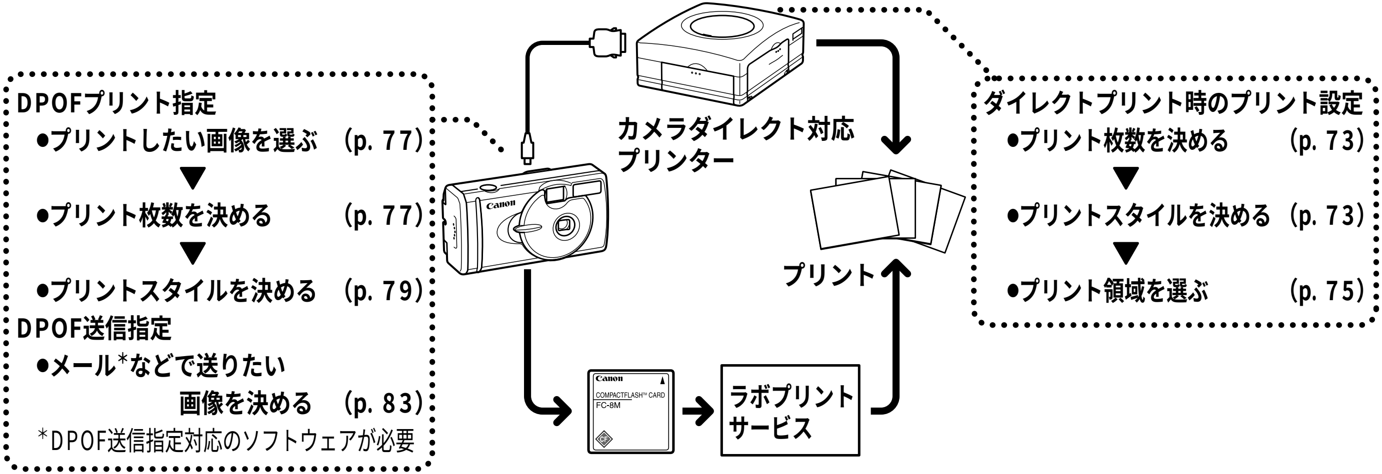
初期化を取り消す場合は、[キャンセル]を選び、SETボタンを押します。

- カメラが正しく動作しないときは、CFカードが壊れている可能性があります。初期化してください。
- キヤノン製以外のCFカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。
- 他のカメラやコンピューター、周辺機器で初期化したCFカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。正しく初期化されないときは、電源を切ったあと、CFカードを入れ直し、再度初期化してください。

プリントについて

このカメラをカメラダイレクト対応プリンター(別売)とケーブルで直接つないで、CFカード内の画像をカメラのボタン操作だけで簡単にプリントできます(ダイレクトプリント)。また、あらかじめカメラでプリントする画像や枚数などを設定(DPOF*プリント指定)しておけば、CFカードをラボプリントサービスにお持ちいただくだけで、指定どおりにプリントできるので大変便利です。このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンターは、システムマップ(別紙)でご確認ください。

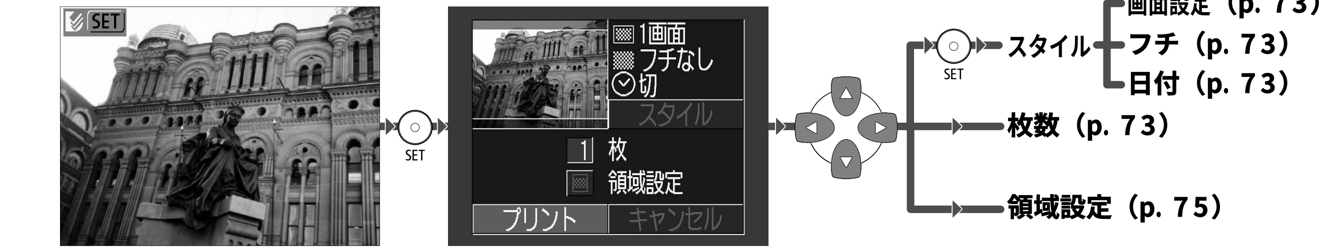
***Digtal Print Order Formatの略**



プリントメニューの選択と設定のしかた

プリント関連の設定は、プリントメニューを使って操作します。
プリントメニューを使った操作は、下図のように行います。

ダイレクトプリントの場合－再生時



DPOF設定の場合－再生時



プリント指定メニュー

プリンターを接続する

プリンターには、ダイレクトインターフェースケーブルが2本同梱されています。このカメラと接続するときは、コネクターに「 ⭠ 」マークがついているケーブル(DIF-100)をお使いください。

- 長時間連続してプリントするときは、家庭用電源(p.102)またはフル充電された単3形ニッケル水素電池(p. 99)、未使用の単3形アルカリ電池をお使いください。

- このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンターは、システムマップ(別紙)でご確認ください。
- ペーパーやインクカセットの取り付け方は、プリンターのユーザーガイドをご覧ください。

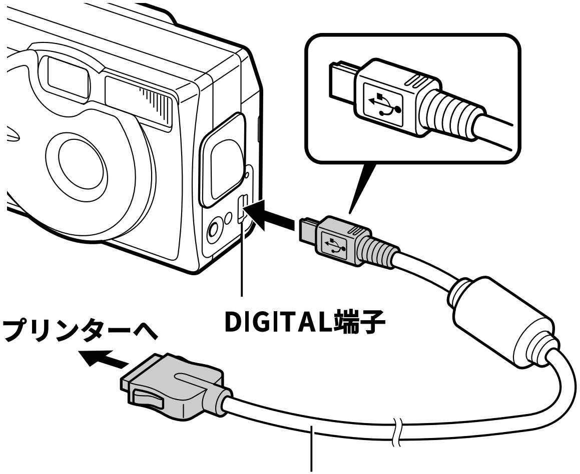
1 カメラの電源を切ります。

2 プリンターに電源ケーブルを接続したあと、電源プラグをコンセントに差し込むか、プリンター用の充電式バッテリーを取り付けます。

- 充電式バッテリーがお使いになれるかどうかは、プリンターによって異なります。プリンターに同梱されているユーザーガイドもお読みください。

3 ダイレクトインターフェースケーブルで、プリンターとカメラを接続します。

- ケーブルを差し込むときは、「⭠」マークがカメラの前面側になるように差し込んでください。



4 ボタンを押して、カメラの電源を入れます。

プリンターが正しく接続されていると、カメラの液晶モニターに が表示されます。



- カメラのDIGITAL端子からケーブルを取り外すときは、必ずコネクターの側面を持って引いてください。

- プリンターを接続しているときは、動画の再生と、SET＋MENUボタンを使った言語の設定はできません。
- プリンターとの接続を解除すると、液晶モニター左上の が消え、通常の再生モードになります。

プリントする

シングル再生またはインデックス再生中の画像をプリントします。

1 ◁/▷ ボタンでプリントしたい画像を表示し、SETボタンを押します。

2 必要に応じてプリント枚数(p. 73)、プリントスタイル(p. 73)、プリント領域(p. 75)を設定します。

3 [プリント]を選び、SETボタンを押します。

プリントが開始され、プリントが正常に終了すると再生画面に戻ります。



- 動画はプリントできません。

プリントを中止するとき

- プリント中にSETボタンを押します。確認の画面が表示されるので、◁/▷ ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します。
- プリント中の画像のプリントは中止できません。次のプリントから中止され、再生画面に戻ります。

エラーが発生したとき

- プリント中に何らかのエラーが発生したときは、エラー画面が表示されます。(p. 97) ◁/▷ ボタンで[中止]または[再開]を選び、SETボタンを押します。
- エラーの内容によっては、[再開]が表示されないこともあります。その場合は、[中止]を選びます。

プリントの設定をする（ダイレクトプリント時）

プリンターを接続したままプリントの設定をします。

プリント枚数を設定する

1 再生画面でSETボタンを押し、△/▽ボタンで［枚］を選びます。



2 ◁/▷ ボタンで枚数を設定します。

1～99まで設定できます。

プリントスタイルを設定する

次のスタイルを設定できます。

画面設定	1 画面	ペーパー 1 枚に 1 画像をプリントします。
	分割画面*	ペーパー 1 枚に同一の画像を 8 画面プリントします。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいにプリントします。
	フチあり	フチを付けてプリントします。
日付		日付を入れてプリントします。

＊カードサイズのペーパーにプリントするときのみ、設定できます。

1 再生画面でSETボタンを押し、△/▽ボタンで[スタイル]を選び、SETボタンを押します。



2 △/▽ボタンで[画面設定]、[フチ]、[日付]のいずれかを選びます。



3 ◁/▷ ボタンで、選びます。

画面設定

[1 画面] または [分割画面] を選びます。



フチ

[フチなし] または [フチあり] を選びます。



日付

[入] または [切] を選びます。



4 MENUボタンを押します。

- [フチなし]や[分割画面]を選ぶと、撮影した画像の中央部分が大きくプリントされます。このため、画像の上下左右がカットされます。プリントされる領域が明るく表示されるので、カットされる部分が確認できます。



- [分割画面]の場合、日付とフチは設定されません(日付[切]、[フチなし]でプリントされます)。
- [フチあり]を選ぶと、撮影した(液晶モニターに表示される)画像とほとんど同じ領域がプリントされます。

プリント領域を設定する

プリントする領域を、3種類の中から設定できます。

プリント領域を指定する前に

- プリントスタイル(画面設定、フチ、日付など)を設定してください。(p. 73)
- フチなしと分割画面のとき設定できます。

1 再生画面でSETボタンを押し、▲/▼ボタンで[領域設定]を選びます。



2 ◁/▷ ボタンで 、 、 の中からプリント領域を選びます。







- ペーパーサイズが、L判のとき、またはプリントスタイルの画面設定が[分割画面]のときは、選べるプリント領域が左右に動くことがあります。

- プリント領域の設定は1画像にのみ設定できます。
- プリント領域の設定は、以下の操作を行うと解除されます。
  - プリントする
  - 他の画像にプリント領域を設定する
  - プリントモードを終了する(カメラの電源を切る、モードを変更する、プリント領域を設定したあと、プリントせずに[キャンセル]を選ぶ、ダイレクトインターフェースケーブルを取り外す)

DPOFのプリント指定

CFカードに記録されている画像の中から、プリントする画像や枚数をあらかじめカメラで設定できます。カメラダイレクト対応プリンターに、まとめてプリントするときや、ラボプリントサービスに注文するときに大変便利です。

プリントする画像を選ぶ

1 **プリント指定メニューを表示します。**
プリントメニューの選択と設定のしかた (p. 69)

2 **[画像指定]を選び、SETボタンを押します。**

3 **◁/▷ ボタンで画像を選びます。**

▶1画像ずつ設定するとき

(プリントタイプ)の設定(p. 79)により、設定方法が次のように異なります。

● (スタンダード)/ (両方)

△/▽ ボタンで枚数を決めます(最大で99枚まで)。



● (インデックス)

△/▽ ボタンを押すと、チェックマークが付き、もう一度押すと、選択が解除されます。



ボタンを押して、インデックス再生（3画像表示）に切り換えても、同じ方法で設定できます。

CFカード内のすべての画像を設定するとき

- ボタンを押して、インデックス再生（3画像表示）に切り換えます。
- SETボタンを押した後で、/ボタンで［全画像指定］を選び、再度SETボタンを押すと、すべての画像に対して1枚ずつプリント設定されます。

- プリントタイプが［スタンダード］/［両方］の場合、各画像のプリント枚数を変更できます。［インデックス］の場合は、プリント設定の解除ができます。変更方法は、手順3のはじめからもう一度ご覧ください。
- ［全指定解除］を選ぶと、すべての設定を解除できます。

4 MENUボタンを押します。

- DPOF対応の他のカメラでプリント指定されたCFカードの場合、が表示されます。このカメラでプリント指定を変更すると、設定済みのプリント指定は、すべて書き換えられます。
- プリンターやラボプリントサービスによっては、指定範囲内容が反映されないことがあります。
- 動画はプリント指定できません。

- 撮影日時の古い画像から順番にプリントされます。
- 最大998画像まで設定できます。
- [プリントタイプ]が[インデックス]の場合、プリント枚数は設定できません。[インデックス]では、1枚のみプリントされます。
- 同梱されているソフトウェアでもプリント指定ができます。

プリントスタイルを設定する

次の内容を設定できます。

プリントタイプ	スタンダード	用紙1枚に1画像をプリントします。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式でプリントします。
	両方	スタンダードとインデックスの両方をプリントします。
日付		日付を入れてプリントします。
ファイル番号		ファイル番号を入れてプリントします。

1 プリント指定メニューを表示します。

プリントメニューの選択と設定のしかた (p. 69)

2 ◁/▷ ボタンで[設定]を選び、SET ボタンを押します。

3 △/▽ ボタンで、プリントスタイル(、 または)を選びます。

4 ◁/▷ ボタンで選びます。





(プリントタイプ)
[スタンダード]、[インデックス]、[両方]のいずれかを選びます。

日付
[入]または[切]を選びます。



ファイル番号
[入]または[切]を選びます。

5 **MENUボタンを押します。**

- プリントタイプで[インデックス]を設定すると、[日付]と[ファイル番号]を同時に[入]に設定できません。
- プリントタイプで[両方]を設定すると、カメラ上では[日付]、[ファイル番号]ともに[入]の設定ができます。ただし、この場合、[インデックス]プリントには、[ファイル番号]のみプリントされます。

- 日付は、 で設定したスタイルでプリントされます。（p. 25）

プリントの設定をリセットする

画像のプリント指定を全て解除し、プリントタイプを「スタンダード」、日付を[切]、ファイル番号を[切]に戻します。

1 **プリント指定メニューを表示します。**

プリントメニューの選択と設定のしかた（p. 69）

2 **/ ボタンで[リセット]を選び、SETボタンを押します。**



3 **/ ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します。**

リセットを取り消すときは、[キャンセル]を選び、SETボタンを押します。

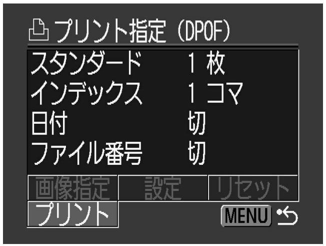
DPOFのプリント指定でプリントする

DPOFのプリント指定内容を、別売のカメラダイレクト対応プリンターでプリントできます。

1 **プリント指定メニューを表示します。**

プリントメニューの選択と設定のしかた（p. 69）

2 **/ ボタンで[プリント]を選び、SETボタンを押します。**

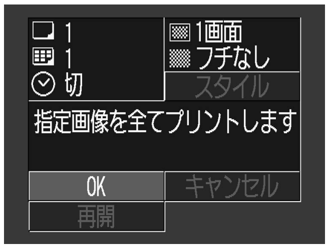


3 **必要に応じてプリントスタイルを設定します。**

- プリントスタイルを設定する（p. 73）
- DPOFのプリント指定で、プリントタイプに[インデックス]を選択している画像では、プリントスタイルは設定できません。

4 **/ / / ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します。**

プリントが開始され、正常に終了すると再生画面に戻ります。





- 日付をプリントする場合は、手順2の[設定]で[日付]を[入]にします。手順3の[スタイル]では、[日付]の設定はできません。（p. 79）
  なお、プリントタイプが[インデックス]の場合、手順2で[日付]を[入]に設定しても、日付はプリントされません。
- プリントタイプが[スタンダード]の場合、ファイル番号はプリントされません。

- プリントタイプが[インデックス]の場合、ペーパー1枚にプリントされる画像数は、ペーパーによって異なります。
  - カードサイズ：20画像
  - L判：42画像
  - はがき：63画像
- プリントを中止するとき（p. 72）
- プリントを再開するとき
  - プリント指定メニューで◁/▷ボタンで[再開]を選び、SETボタンを押します。残りの画像をプリントできます。
  - 次のような場合は、プリントの再開はできません。
    - 再開する前に、プリント指定を変更した
    - 再開する前に、プリント指定した画像を削除した
    - プリントを中断したときに、CFカードの空き容量が少なかった

  このような場合は、プリント画面で[OK]を選択すると、1枚目から再プリントできます。バッテリーの容量がなくなって中断した場合は、家庭用電源またはフル充電された単3形アルカリ電池に交換して、カメラの電源を入れてください。
- エラーが発生したとき（p. 97）

Canon Image Gatewayでできること

このカメラをお求めになられた皆様には、オンラインフォトサービス「Canon Image Gateway」から、以下のサービスをご利用いただけます。サービスを利用するときは、まず会員登録（オンライン登録：無料）が必要です。登録方法については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

- インターネット接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了）が必要です。
- プロバイダとの接続料金およびプロバイダのアクセスポイントへの電話料金は別途かかります。

オンラインアルバムサービス

画像をCanon Image Gatewayにアップロードし、ネット上にオリジナルアルバムを作成できます。また、画像につけたコメントや音声も同時にアップロードできますので、個性的なアルバムが作れます。
アップロードした画像は、多彩なレイアウト機能などを活用してアレンジすれば、自分だけのオリジナルアルバムを楽しめます。また、アルバムは、知人(お友達やご家族)にも公開できますので、楽しみ方も倍増です。



●画面はWindows用です。最新の画面と異なる場合があります。

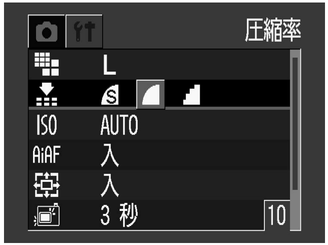
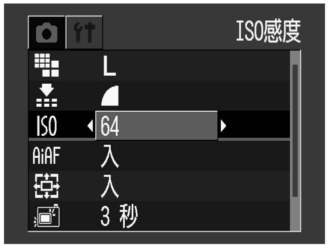
オンラインプリントサービス

アルバムの画像を指定して、高画質なオンラインプリントサービスに、簡単にプリントを注文することができます。また、アルバムを公開されたお友達やご家族の人たちも注文できます。

メニュー・メッセージ一覧

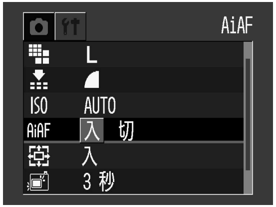
撮影メニュー

＊初期設定

項目・画面	内　容
記録画素数（静止画）  画面例： PowerShot A100	撮影した画像を CF カードに記録するときの記録画素数を設定します。（p. 42） • L（ラージ）＊ A200：1600×1200 画素 A100：1280×960 画素 • M（ミドル）1024×768 画素 • S（スモール）640×480 画素
圧縮率 	撮影した画像を CF カードに記録するときの圧縮率を設定します。（p. 42） • S スーパーファイン • ファイン＊ • ノーマル
記録画素数（動画） 	撮影した動画を CF カードに記録するときの記録画素数を設定します。（p. 42） 320（320×240 画素）＊ 160（160×120 画素）
ISO 感度  画面例： PowerShot A100	撮影感度を設定します。（p. 56） （A200）：• 50＊ • 100 • 200 • 400 • AUTO （A100）：• 64＊ • 100 • 200 • 400 • AUTO

＊初期設定

項目・画面	内　容
AiAF	AF枠をカメラが自動的に選択して、撮影するか、あらかじめ中央のAF枠に決めて撮影するかを設定します。（p. 52） ・入＊ ・切
デジタルズーム	デジタルズームの入 / 切を設定します。（p. 36） ・入＊ ・切
撮影の確認	撮影してシャッターボタンを離した後、撮影した画像を液晶モニターに表示する時間を設定します。（p. 36） ・切　/ 3秒＊ / 10秒
AF補助光	AF補助光の入 / 切を設定します。（p. 35） ・入＊ ・切
番号リセット機能	ファイル番号の付け方を設定します。（p. 57） ・入 ・切＊











再生メニュー

＊初期設定

項目・画面	内　容

プロテクト



消去できないようにプロテクトを設定します。（p. 65）

回転



時計方向に 90 度、270 度に回転して表示します。（p. 63）

全消去



CF カードに記録されている画像をすべて消去します。（プロテクトされている画像を除く）（p. 66）

項目・画面	内　容

オートプレイ



記録した画像を自動再生します。（p. 64）

プリント指定



画像をカメラダイレクト対応プリンターまたはラボプリントサービスでプリントするとき、プリントする画像や枚数を指定します。（p. 77）

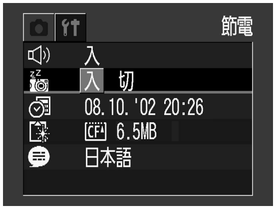
送信指定



お使いのメールソフトで送信する画像を、あらかじめカメラで指定します。（p. 83）

設定メニュー

＊初期設定

項目・画面	内　容
電子音 	**シャッターボタンを押したときや、メニューを操作したときに、電子音を鳴らすかどうかを設定します。** **・入＊/ 切** **（p. 35）** エラー時の警告音は、［切］でも鳴ります。
節電 	**一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。****（p. 28）** **・入＊/ 切**
日付 / 時刻 	**日付、時刻、日付スタイルを設定します。****（p. 25）**

項目・画面	内　容
CF の初期化 	**CF カードを初期化します。****（p. 67）**
言語 	**液晶モニターのメニューやメッセージを、どの言語で表示するかを設定します。****（p. 26）** English / Deutsch / Français / Nederlands / Dansk / Suomi / Italiano / Norsk / Svenska / Español / 日本語＊

すべての設定を初期設定に戻す

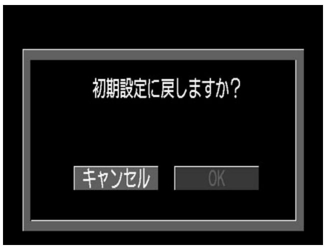
[日付/時刻]、[言語]以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定をすべて初期設定に戻します。

1 **カメラの電源を入れます。**

撮影、再生、どちらのモードでも構いません。

2 **MENUボタンを5秒以上押しつづけます。**

液晶モニターに「初期設定に戻しますか？」のメッセージが表示されます。



3 **◁/▷ ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します。**

処理中は、次のような画面が表示され、処理が終わると通常の画面に戻ります。



- 初期設定に戻すのをやめるときには、「キャンセル」を選択し、SETボタンを押します。

メッセージ一覧

液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。

処理中…	：撮影した画像をCFカードに記録しています。 再生モードを起動中です。
CFカードがありません	：CFカードがカメラに入っていないときに、撮影や再生をしようとしました。
記録できません	：CFカードがカメラに入っていないのに撮影しようとしました。
CFカードが異常です	：CFカードに異常があります。
CFカードがいっぱいです	：CFカードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上画像を記録できません。 または、これ以上プリント指定を保存できません。
ファイル名が作成できません	：カメラが作成しようとするディレクトリと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでにファイル番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。撮影メニューで[番号のリセット機能]を[入]に設定してください。必要な画像をコンピューターに取り込んだ後、CFカードを初期化してください。なお、初期化すると、CFカード内の画像およびデータはすべて消去されます。
バッテリーを交換してください	：電池の容量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに2本ともすべて未使用の単3形アルカリ電池(p. 20)に交換するか、充電された充電池に交換してください。
画像がありません	：CFカードに画像が記録されていません。

画像が大きすぎます	：3200×2400画素より大きなサイズの画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。
互換性のないJPEGです	：互換性のないJPEGフォーマットの画像を再生しようとしました。
データが壊れています	：データが破壊されている画像を再生しようとしました。
RAW	：RAWの画像を再生しようとしました。
認識できない画像です	：動画や特殊なフォーマット（他社カメラ特有の記録フォーマットなど）で撮影した画像を再生しようとしました。
拡大できない画像です	：別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんコンピューターに取り込んで加工した画像を拡大しようとしました。
回転できない画像です	：別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんコンピューターに取り込んで加工した画像を回転させようとしました。
プロテクトされています	：プロテクトされている画像を消去しようとしました。
指定が多すぎます	：プリント指定の画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。
指定できない画像です	：JPEG以外のファイルをプリント指定しようとしました。
Exx	：カメラに異常が発生しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えサービスセンターへお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

別売のカメラダイレクト対応プリンターでのプリント中に、カメラの液晶モニターに表示されるメッセージには、以下のものがあります(プリンターによっては、表示されないメッセージもあります)。

ペーパーがありません	：ペーパーカセットが正しく入っていません。またはペーパーカセット内にペーパーがありません。
インクがありません	：インクカセットが入っていません。またはインクカセットのインクがありません。
指定外のペーパーです	：このカメラでプリントできないサイズのペーパーがプリンターに取り付けられました。
指定外のインクです	：このカメラでプリントできない種類のインクカセットがプリンターに取り付けられました。
インクカセットが異常です	：インクカセットに異常があります。
ペーパーとインクが不一致です	：ペーパーのサイズとインクの種類が異なります。
ペーパーが詰まりました	：プリント中にペーパーが詰まりました。
ペーパーが変更されています	：プリントスタイルメニュー表示時から、プリントを開始するまでの間に、ペーパーのサイズが変わりました。
インクが変更されています	：プリントスタイルメニュー表示時から、プリントを開始するまでの間に、インクの種類が変わりました。
プリンターバッテリー切れです	：プリンターの電池がありません。
通信エラー	：通信中にエラーが発生しました。
プリントできない画像です	：別のカメラ、もしくは異なるフォーマットで撮影した画像、または、コンピューターに取り込んで加工した画像をプリントしようとしました。
プリントできない画像がXX枚ありました	：別のカメラで撮影した画像、またはコンピューターに取り込んで加工した画像をxx枚、DPOF設定でプリントしようとしました。

コイン電池を交換する

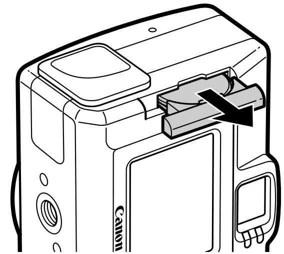
カメラの電源を入れたとき、日付/時刻の設定メニューが表示された場合は、コイン電池の残量が低下し、日時の設定が消えています。市販のコイン電池（CR2016）をお求めのうえ、次の手順で交換してください。
（最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、ご購入時の電池性能が規定と異なることがあります。）

⚠

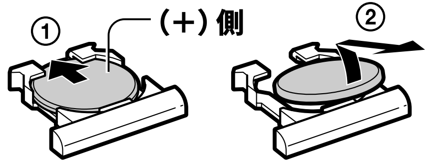
- コイン電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合、電池の液で胃、腸が侵される恐れがありますので、直ちに医師に相談してください。

1 電源が切れていることを確認します。

2 コイン型電池ホルダーを矢印の方向に取り出します。



3 コイン型電池を①の矢印の方向に少しずらし、②の矢印の方向に引き抜くように取り出します。



4 新しいコイン電池を、(+)側を上にして取り付けます。

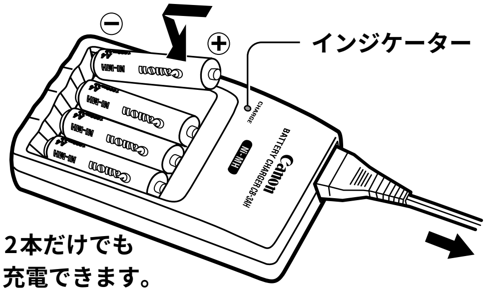
5 コイン電池ホルダーを元の位置に戻します。

6 日付/時刻設定メニューが表示されたら、日付/時刻を設定します。
(p. 25)

- カメラをご購入後、はじめて電源を入れたときにも、日付/時刻の設定画面が表示されますが、コイン電池を交換する必要はありません。

電源キット(別売)の使いかた

充電式バッテリーを使う (バッテリー/チャージャーキット CBK100)



- バッテリー/チャージャーキット CBK100には、電池が4本同梱されていますが、このカメラでは2本使用します。
- 充電中はインジケーターが点滅します。充電が終わると点灯に変わります。

- このバッテリーチャージャーでは、キヤノン単3形ニッケル水素電池以外の電池を充電しないでください。
- 未使用の電池と、他のカメラなどで使用した電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を充電するときは、必ず、一緒に使用している2本を同時に充電してください。
- 充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を保護し、性能の劣化を防ぐため、フル充電された電池を再度充電しないでください。
- 熱のこもりやすい場所では充電しないでください。
- 容量を使い切らずに充電を繰り返すと、容量が低下することがあります。液晶モニターに「バッテリーを交換してください。」というメッセージが表示されるまで使い切ったあと、充電してください。
- 以下のときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。
  - 電池の使用可能時間が著しく短いとき
  - 記録画素数が著しく少ないとき
  - 電池を充電するとき（さらに、電池の取り付けと取り外しを2～3回繰り返してから充電してください）
  - 電池充電時間が数分程度で終了する（バッテリーチャージャーのインジケーターが点灯する）とき
- 電池の電極と、バッテリーチャージャー、カメラの ⊕⊖ 端子は、常にきれいにしておいてください。汚れていると接触不良の原因になります。充電や使用する前に、乾いた布などでよく拭いてください。
- 電池の特性により、お買い求め直後や長時間お使いにならなかった電池は、十分に充電されないことがあります。このときは、フル充電して電池を使い切ることを数回繰り返してください。電池の性能が元に戻ります。
- 電極を拭いてからインジケーターが点灯するまで充電したにもかかわらず、電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の寿命と考えられます。新しい電池と交換してください。新しくお求めになるときは、キヤノン単3形ニッケル水素電池をご購入ください。

- 電池をカメラやバッテリーチャージャーに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。お使いにならないときは、カメラやバッテリーチャージャーから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

- 完全に放電された状態からフル充電になるまでの時間は、2本のとき約110分、4本のとき約220分です(当社測定基準による)。0～35℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲温度や充電状態により異なります。

Ni-MH

- この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
- この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- 交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。

  製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
  (社)電池工業会 小型二次電池再資源化推進センター
  及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局*
  *(社)電池工業会ホームページ
  http://www.baj.or.jp/
  電話番号　03-3434-0261

リサイクル時のご注意

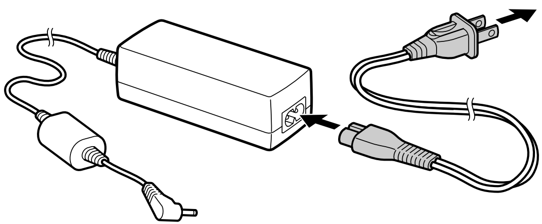
・電池を分解しないでください。

家庭用電源を使う（ACアダプターキットACK800）

カメラを連続して長時間お使いになるときや、コンピューターと接続するときは、ACアダプターキット ACK800（別売）のご利用をおすすめします。

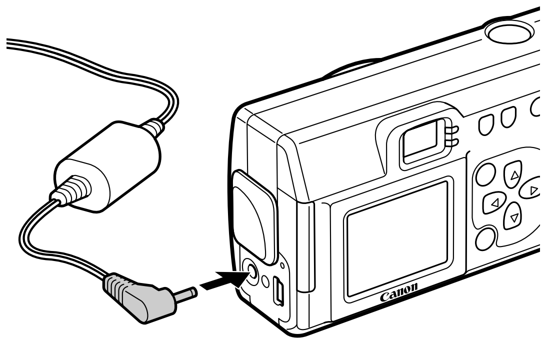
- コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しは、カメラの電源を切ってから行ってください。

1 **コンパクトパワーアダプターに電源ケーブルを接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。**



2 **端子カバーを開き、コンパクトパワーアダプターのDCプラグをカメラのDC IN端子に接続します。**

- 使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



- ACアダプターキット ACK800以外の電源キットをお使いになると、カメラやACアダプターキットの故障の原因となることがあります。

カメラのお手入れ

カメラやレンズ、ファインダー、液晶モニターなどが汚れたときは、次の方法でクリーニングしてください。

カメラ	やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。
レンズ	市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ったあと、やわらかい布で軽く拭き取ってください。 ● カメラやレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター（別紙の修理サービスご相談窓口をご参照ください）にご相談ください。
ファインダー	市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。
液晶モニター	市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。 ● 液晶モニターの表面を強くこすったり、押したりすると、表面にキズがつきますので、ご注意ください。

- 絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

故障かなと思ったら

現　　象	原　　因	対　　処
カメラが動作しない	電源が入っていません。	●電源を入れてください。（電源を入れる/切る（p. 28））
	CFカードスロット/バッテリーカバーが開いています。	●CFカードスロット/バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。
	電池が逆向きに入っています。	●電池を、正しい方向で入れ直してください。
	電池の電圧が足りません。	●未使用の電池、または十分に充電した電池に2本とも交換してください。 ●AC電源を使用してください。
	不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池または、キヤノンの単3形ニッケル水素電池を入れてください。（電池の取り扱いについて（p. 22））
	カメラと電池の接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。
撮影ができない	再生モードになっています。	●撮影モードに切り替えてください。（撮影/再生を切り換える（p. 29））
	ストロボが充電中です。	●充電が完了すると、インジケーターが橙色に点灯しますので、シャッターボタンを押してください。

現　　象	原　　因	対　　処
撮影ができない	CFカードの容量がありません。	●新しいCFカードを入れてください。 ●必要であれば、カードに記録されている画像をコンピューターに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
	CFカードが正しくフォーマットされていません。	●CFカードを初期化してください。 （CFカードを初期化する（p. 67）） ●CFカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。キヤノンのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
電池の消耗が早い	不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池、またはキヤノンの単3形ニッケル水素電池を入れてください。（電池の取り扱いについて（p. 22））
	周囲の温度が低いために電池の容量が低下しています。	●温度が比較的低い場所で撮影する場合には、ポケットなどに電池を入れて、温めてからお使いください。
	電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。
	1年以上お使いにならなかったために、充電池の容量が低下しています。	●フル充電して使い切ることを数回繰り返すうちに容量が回復します。
	充電池の性能が悪くなっています。	●2本ともすべて新しい充電池と交換してください。

現　　象	原　　因	対　　処
充電できない	電池が逆向きに入っています。	●電池を正しい方向で入れ直してください。
	充電池とバッテリーチャージャーの接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。 ●充電池をバッテリーチャージャーにしっかりとセットしてください。 ●電源ケーブルをバッテリーチャージャーのコネクターとコンセントにしっかり差し込んでください。
	電池の電極が汚れています。	●電池の電極を乾いた布などで拭いてから充電してください。
	充電池の性能が悪くなっています。	●２本ともすべて新しい充電池と交換してください。
画像がぼやけているピントがあまい	カメラが動いています。	●シャッターボタンを押すときに、カメラを動かさないように注意してください。
	AF補助光投光部が何かで覆われているため、オートフォーカスが機能していません。	●AF補助光投光部に、指などがかからないように注意してください。
	AF補助光設定が「切」になっています。	●撮影メニューの「AF補助光」を「入」にしてください。（p. 91）

現　　象	原　　因	対　　処
画像がぼやけているピントがあまい	被写体がピントの合う範囲からはずれています。	●被写体から20cm以上離してください。 ●被写体から5〜20cmの距離で撮影するときは、マクロモードで撮影してください。 ●遠くの被写体を撮影するときは、遠景モードで撮影してください。
撮影した画像の被写体が暗すぎる	撮影時の光量が不足しています。	●ストロボをオンにしてください。
	被写体が周辺部に比べて暗すぎます。	●露出補正値をプラス側に設定してください。
	被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から2m以内に近づけてください。
撮影した画像の被写体が明るすぎる	被写体が近すぎて、ストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から20cm以上離してください。
	被写体が周辺部に比べて明るすぎます。	●露出補正値をマイナス側に設定してください。
	照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
	ストロボがオンになっています。	●ストロボをオン以外にしてください。
ストロボが発光しない	ストロボがオフになっています。	●ストロボをオフ以外にしてください。

主な仕様 すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

	PowerShot A200	PowerShot A100
カメラ部有効画素数	約200万画素	約120万画素
撮像素子	1/3.2型CCD（総画素数 約210万画素）	1/3.2型CCD（総画素数 約130万画素）
レンズ	5mm（35mmフィルム換算 39mm）、F2.8	
デジタルズーム	最大4倍	最大3.2倍
光学ファインダー	逆ガリレオ型ファインダー	
液晶モニター	1.5型低温ポリシリコンTFT LCD 約12万画素	
オートフォーカス	TTL 3点 AiAF / TTL 中央1点AF フォーカスロック可能	
撮影距離	通常撮影時：20cm〜∞　マクロ撮影時：5〜20cm	
シャッター	メカニカルシャッター + 電子シャッター	
シャッター速度	1〜1/2000秒 •1〜1/6秒はマニュアルモードの［ストロボオフ］、または［スローシンクロ］時、またノイズリダクション処理あり	
測光方式	評価測光（測距点に連動）	
露出制御方式	プログラムAE	
露出補正	±2段（1/3段ステップ）	
感度	ISO 50/100/200/400相当/オート （オート時には、ISO 50〜150相当の間で自動設定）	ISO 64/100/200/400相当/オート （オート時には、ISO 64〜150相当の間で自動設定）

		PowerShot A200	PowerShot A100
ホワイトバランス		TTL オートホワイトバランス / プリセットホワイトバランス（太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯H）	
ストロボ		赤目緩和オート / オート / オン / オフ / スローシンクロ	
ストロボ連動範囲		20cm～2m	
撮影モード		オート/マニュアル/スティッチアシスト/動画	
連続撮影		約2画像/秒 （ラージ/ファインモード、液晶モニター非表示のとき）	約3画像/秒 （ラージ/ファインモード、液晶モニター非表示のとき）
セルフタイマー		約10秒後に撮影	
パソコン接続撮影		USB接続時、RemoteCapture（同梱のソフトウェア）で撮影可能	
記録媒体		コンパクトフラッシュカード （Type I）	
画像ファイルフォーマット		DCF*1、DPOF対応	
画像記録フォーマット		静止画：JPEG（Exif 2.2）*2　動画：AVI（画像データ：Motion JPEG）	
圧縮率		スーパーファイン/ファイン/ノーマル	
記録画素数	静止画	ラージ　：1600 ×1200画素 ミドル　：1024 × 768画素 スモール：640 × 480画素	ラージ　：1280 × 960画素 ミドル　：1024 × 768画素 スモール：640 × 480画素
	動画	320×240画素（約9秒） 160×120画素（約26秒） 約20フレーム/秒 （ ）内は1回の最長記録時間	320×240画素（約14秒） 160×120画素（約30秒） 約15フレーム/秒 （ ）内は1回の最長記録時間

	PowerShot A200	PowerShot A100
再生モード	シングル再生 インデックス再生（サムネイル9画像） / 拡大再生（液晶モニター上で最大約10倍に拡大可能）/ オートプレイ/専用プリンター（CP-100、CP-10）への画像出力（ダイレクトプリント）	
表示言語	English / Deutsch / Français / Nederlands / Dansk / Suomi / Italiano / Norsk / Svenska / Español / 日本語	
Canon Image Gateway対応機能	同梱のソフトウェアを使って、会員登録、画像のアップロード	
インターフェース	USB（mini-B）	
電源	単3形アルカリ電池（同梱） 充電式ニッケル水素電池（別売） 専用コンパクトパワーアダプター CA-PS800（別売）	
動作温度	0～40℃	
動作湿度	10～90%	
大きさ（幅×高さ×奥行き）	110×58×36.6mm（突起部を除く）	
質量	約175ｇ （本体のみ）	

*1 DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、DSC等の画像ファイル等を関連機器で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

*2 このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

電池性能について

	撮影画像数		再生時間
	液晶モニター表示	液晶モニター非表示	
単3形 アルカリ電池 （同梱品）	A200 約 90 画像 A100 約 100 画像	A200 約 300 画像 A100 約 380 画像	約 90 分
単3形 ニッケル 水素電池 （NB-1AH）	A200 約 200 画像 A100 約 210 画像	A200 約 550 画像 A100 約 630 画像	約 120 分

＜測定条件＞

撮影： 常温（23℃）、20 秒間隔で撮影を繰り返し、4 回に 1 回ストロボ使用、8 回に 1 回電源を OFF/ON 操作

再生： 常温（23℃）、1 画像あたり 3 秒間隔で連続再生

電池の取り扱いについて（p. 22）

CF カードの種類と記録画素数の目安

		FC-8M	FC-16M	FC-32M	FC-64M	FC-128M
L （1600 × 1200 画素） PowerShot A200	S	7	15	31	64	128
		11	24	49	100	200
		24	48	99	200	401
L （1280 × 960 画素） PowerShot A100	S	10	21	43	88	177
		16	32	67	135	271
		32	64	131	263	528
M （1024 × 768 画素）	S	16	32	67	135	271
		24	49	102	205	412
		46	92	189	379	760
S （640 × 480 画素）	S	35	70	143	288	577
		50	99	206	415	831
		87	172	353	707	1417
動画 PowerShot A200	320 （320 × 240 画素）	18 秒	36 秒	76 秒	152 秒	305 秒
	160 （160 × 120 画素）	48 秒	97 秒	198 秒	399 秒	799 秒
動画 PowerShot A100	320 （320 × 240 画素）	24 秒	49 秒	100 秒	201 秒	404 秒
	160 （160 × 120 画素）	63 秒	126 秒	263 秒	527 秒	1056 秒

＊ 動画の 1 回の撮影時間　320 PowerShot A200 ：約 9 秒、PowerShot A100 ：約 14 秒
160 PowerShot A200 ：約 26 秒、PowerShot A100 ：約 30 秒
表中の数値は、繰り返し撮影した場合の記録可能時間です。

1 画像の容量（目安）

	L (1600 × 1200 画素) PowerShot A200	L (1280 × 960 画素) PowerShot A100	M (1024 × 768 画素)	S (640 × 480 画素)
スーパーファイン	957KB	693KB	450KB	208KB
ファイン	611KB	450KB	294KB	141KB
ノーマル	302KB	228KB	155KB	79KB

- L (ラージ)、M (ミドル)、S (スモール)、320、160 は記録画素数を表します。
- (スーパーファイン)、(ファイン)、(ノーマル) は、圧縮率を表します。

ニッケル水素電池 NB-1AH

（別売のニッケル水素電池 NB4-100 またはバッテリー/チャージャーキット CBK100に同梱）

形式	充電式ニッケル水素電池
公称電圧	DC1.2V
公称容量	1600mAh（最小：1550mAh）
充放電回数	約300回（目安）
使用温度	0～35℃
大きさ	直径：14.5mm 長さ：50mm
質量	約27g

バッテリーチャージャー CB-3AH

（別売のバッテリー/チャージャーキット CBK100に同梱）

定格入力	AC100～240V（50/60Hz）/14VA
定格出力	DC1.6V/2A
充電時間	4本のとき約220分、2本のとき約110分
使用温度	0～35℃
大きさ	113X74X27.5mm
質量	約100g（本体のみ）

コンパクトパワーアダプター CA-PS800

（別売のACアダプターキット ACK800に同梱）

定格入力	AC100～240V（50/60Hz）/ 16VA（100V）～26VA（240V）
定格出力	DC 3.15V/2A
使用温度	0～40℃
大きさ	42.5X104X31.4mm
質量	約180g（本体のみ）

コンパクトフラッシュカード

カードスロットタイプ	Type I
大きさ	36.4X42.8X3.3mm
質量	約10g

索引

ハ 行

マ 行

ラ 行

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

Ni-MH ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

①本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
②本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
③本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら、最寄りのキヤノンお客様ご相談窓口までご連絡ください。連絡先は、本書巻末に記載してあります。
④このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

- CanonおよびPowerShotは、キヤノン株式会社の商標です。
- Canon Image GatewayおよびImage Gatewayは、日本国内における登録商標です。
- CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、SanDisk Corporationの商標です。
- DCFは、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- iBookおよびiMac、QuickTimeは、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MacintoshおよびPowerBook、Power Macintoshは、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

Canon
キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社
〒108-8011　東京都港区三田3-12-15　東急三田ビル

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

製品名　PowerShot A200、PowerShot A100

お問い合わせ　キヤノン販売お客様相談センター（全国共通番号）　0570-01-9000
受付時間：　平日 9:00 ～ 20:00
土・日・祝日 10：00 ～17：00（1月1日～1月3日を除く）
お電話がつながりましたら音声ガイダンスに従ってデジタルカメラの該当番号＜71＞をお話しください。
音声認識後、商品担当者におつなぎします。
全国64ヵ所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
なお、携帯電話・PHSをご使用の方は、043-211-9556をご利用ください。
※ 音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※ 電話の回線状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。
その場合でもオペレーターにおつなぎいたしますので、そのまま電話を切らずにお待ちください。
※ 消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノン販売（株）販売窓口にてご購入ください。なお、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

修理サービスご相談窓口

同梱している「修理サービスご相談窓口」（別紙）でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社　**http://www.canon.co.jp/Imaging/**
キヤノン販売株式会社 デジタルカメラ製品情報　**http://www.canon-sales.co.jp/camera/digital**
キヤノン販売株式会社 サービス＆サポート　**http://www.canon-sales.co.jp/e-support/index-j.html**
Canon Image Gateway　**http://www.imagegateway.net/**

CDI-J038-010